阿波志

十一

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

阿波志巻之十一目録

那賀郡

圖
建置沿革
郷名
莊名
村里
土田

帝國圖書館藏
阿波國文庫
国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

849
4

氏族

租税
戸口
山川
土産
祠廟
佛刹
古蹟
塚墓

阿波國文庫
阿波志巻之十一目録

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

L.B
5

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

那賀郡圖

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

帝國圖書館藏

阿波志卷之十一

儒員　臣藤原憲輯

那賀郡

東至海南至海部郡西至麻殖郡平村北至勝浦郡又至名東郡東西十里許南北五里或三里

建置沿革

海部昔屬此郡爲鄉後分爲二郡慶長中爲那東那西海部三郡凡十三郡寛文四年合那東那西爲一郡元禄中村凡八十八今分爲百四

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

郷名		
山代宇山	今稱仁島平	
島根島等是也	今廢中	
幡羅村存	今廢	
	大野村存	
	阪野村存	
	和泉村有	今廢本莊

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

莊名	村里
五箇莊	竹原莊
立江舊稱中村尋分爲椋埼西埼二村里九曰向山曰椋埼曰西埼曰清水曰橋町曰西町曰森町曰八幡曰赤石田皆櫛淵里七曰東沮洳稻多雨災米赤而不甘曰久枝曰湯谷曰佐山曰山口田與立江同	大林
豐浦舊隷大林	阪野北曰大葉曰川屋曰中塚
黒地里二曰彌八幡里二曰高原曰中塚吉曰大坪八幡東北諸村通稱新莊	
手島	小延支落一
敷地	中原
島尻里一曰和田島里三曰奥池曰三軒家	
堀宅	

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

江島　里四日西分曰東分
色島　曰久江瀬曰低助
今津浦　坊六曰本町曰片平町曰新町
曰横町曰高工町曰鍛匠原
芳埼　刈屋　工地
上福井　北中島　中島浦　里三日
田中曰高塚洲四曰福岡島　夷原曰
齋藤島曰正見島曰織多島　古津
三栗　赤池　支落一
原　中莊　里四日
宮倉　昔有屯倉故名　曰高田　曰那東曰浦川　岩脇
支落一曰羽浦　曰那東原

西原　古莊
南島　岡　里四日
津曰楠曰別　横水　古毛　支落一曰
當原曰大手　畠中曰　妙見島
原埼　黒土　舊稱蛇原細沙爲丘明曆　里五日高
中紀伊藤代商人來闢改　柳島
名墨浦後又改稱坊四日網　河原曰中
西路水　支落一曰福村舊稱　曰願能寺曰
町曰土佐町曰西町曰窪町　屋領家　曰長曰芥
三田原里二
中林里一曰　西水　七水
南林　曰出來町
水瀉支落一
曰三谷一
開野　學原

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

中原里三曰新田曰中原曰原　石塚冨岡町隷此坊八曰
西新街曰東新街曰内街曰西中街曰魚店曰第十街曰佃街　今市
隆善寺里一曰清水　上大野支落一曰西原　中大野
下大野　西潟里三曰川埼曰南分曰中條分
木荘里五曰泉曰出宅曰半勢曰上田曰茶道床　宮内
三倉里七曰常泉寺曰善入谷曰二义谷曰中分曰圓山曰天満曰鳥打又有谷五曰善
入谷曰山路曰道路曰花折曰二义　明谷里五曰西山曰北地曰中分曰段有谷四曰彌
曰白木曰横曰本　下荒井里十二曰井闗曰川瀬埼曰北荒井曰郡

曰友竹曰原曰大門曰松内曰竹宗曰市場曰太郎丸曰德永　上荒井里三曰長池曰
荒井谷曰奥谷　大原里二曰落田曰會下　桑野里五曰中野曰川西
曰蛭地曰岡本曰中留　廿枝舊合南荒田野里七曰花阪曰東山曰名光寺曰長
國曰遊坊曰動二曰西地有谷四曰東山曰王子曰猪曰穴　山口舊分為三村曰山口
曰内田曰本莊里十一曰北谷曰南谷曰津末曰中分曰田野曰原野曰匹石谷曰城内曰北
山曰内田曰杉谷有谷三十八曰西曰東曰常行曰抦曰欠谷曰大谷曰城谷曰櫛阪曰九郎
藏曰藤次曰陰畑曰赤土曰椯木曰車谷曰蒲生曰九玉曰蟬飛曰閼伽曰白池曰吉藤曰國
王曰津倉石曰宮谷曰野筒曰萩原曰西山曰嵐曰楠曰勢子曰犬谷曰蓮華曰本曰東曰奥

曰奥宅曰乗善曰德丸曰宿毛有谿七曰北谷曰南谷曰櫛阪曰中分曰嵐谷曰龜谷曰匹石谷

北荒田野

里十二曰喜來曰川义曰德永曰友常曰清貞曰鰕川曰安行曰卄谷曰國端曰西光寺曰平等寺曰友重有谷十六曰猫曰北榙曰南榙曰寺曰日開曰負曰屋内曰鰕川曰畑谷曰熊生曰大根曰宇井曰岩曰大谷曰宿毛曰乘善

南荒田野

里十九曰元信曰定信曰木戸曰宮窪曰馬埒曰入田曰室窪曰卄步曰大城寺曰博石曰片山曰春山曰廣重曰生谷曰月夜曰貞持曰平河内曰末持曰常正有谷四十四曰上山曰下山曰延谷曰鳥泉曰孿曰辛見曰菴谷曰菖蒲曰堺谷曰相名曰赤木曰潰曰堂谷曰入田曰橋高曰羽池曰五月曰富士曰隱曰馬見

曰大谷曰谷尻曰堂谷曰帆掛曰大谷曰清曰明泉曰不動曰日開曰生見曰菖蒲曰子産曰北曰細工曰戸根曰大谷曰墓曰五次郎曰楠曰堤曰南曰助曰𦅜曰總

内原

里六曰柳橋曰中分曰成松曰養松曰竹内曰筒埼有谷十二曰栫谷曰小谷曰大谷曰山越曰櫛谷曰長曰宮曰彌曰後是曰大谷曰柳曰明

峇島

里十五曰暹越曰疾越曰夷山曰長濱曰西濱曰小池曰吉谷曰舳埼曰新長濱曰東濱曰大瀉曰祐曰南林曰林埼曰青木有谷十曰鴻江曰浚曰草井谷曰炭屋曰木原曰宮谷曰柚奥曰楠曰大谷曰江谷

橋浦

舊屬桑野堡里三曰鵠曰青木曰土井埼

椿地

里七曰小谷曰大谷曰宮毛曰中内曰後戸曰大東曰赤埼有谷八曰國王曰奥長曰一谷曰栫曰西曰榎曰狹曰

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

寺

椿
里九曰動〻曰上池曰中村
曰香谷曰高岸曰横宅曰次
屋曰蒲生田有谷十二曰東道曰西道曰地那
曰小場曰八原谷曰倉曰水曰加茂曰平松曰
西郎
曰戒

椿泊
里五曰中福井曰小谷曰
寺谷曰出島曰糖塚

下福井
里二十二曰袴大原曰古津曰垣内曰
森曰古毛曰實用曰大西曰元末曰裂
股曰窪野曰森腸馬路曰邊川曰長谷川曰宮
山地田曰平田佐總曰土居埼曰東吉谷曰西
吉谷曰小野曰下原大丸曰鳥井原曰羽廣土
佐谷有谷二十四曰入道曰阪本曰古津曰簑
曰天王曰羽廣曰土佐曰阿部曰馬路曰膀爾
曰吉曰原池白茂正曰月夜曰市中曰貝曰西
曰東曰彌曰地藏曰長峯
曰松阪曰河内曰平石

加茂

吉井　　楠根　　深瀬
十八女 阪入之轉在太龍山阪下曰名爾　　水井
大井　　細野　　和食 慶長十九年創舊曰
和食原里九曰西在曰雀城曰川原曰時元曰
南川曰茨岡曰八幡原曰北路曰田野有谷三
十六曰窪曰日暮曰刑部曰下之計曰中吹曰
山谷曰佛曰捕曰女谷曰倉谷曰櫛屋曰捻曰
笠松曰柳谷曰舍〻夫曰賓曰弓矢師曰四五
曰生死曰正見曰鍛冶曰橋曰篗曰井谷曰牛
旁曰井下曰日柏曰正福曰五水曰堂曰不知
瀧曰姥嶽曰猿嶽曰石曰西曰孿和食街隸此
坊四曰通條曰横街曰殿街
曰西小路土佐街亦隸此

丹生
舊稱長山
里三曰華

表原曰學原曰北地以下五十餘落皆隷此

櫛谷曰手代　中山里十八曰

谷曰天王谷　曰禰宜野曰

曰下司名曰助友曰堂免曰

千本曰柳澤曰孿野曰孫野曰

射塲曰　　侵里十曰赤阪曰

關原　　侵曰松窪曰宮多尾曰

曰鴨川曰壁石曰　　曰追立曰

舟越曰中城寺　　曰浦曰寺谷曰

野曰伏木曰　　險生里五曰

瀬津曰浦　　廣瀬曰追

櫻谷里七曰　　小丹生里四曰

猪浦曰卜地曰　　蠅谷曰

朴野里三曰朴野原曰　　延清曰長門原

大西原曰植杖原曰　　懸盤州曰苻殿　　新田曰浦

曰水白尾曰　　里五曰加　　井木根曰

曰宮廬師曰　　古曰　　安曰

曰池本曰　　東根曰大向曰

拜宮德谷曰上　　里十七曰　　犬還曰　　寒谷曰　　清野曰

德谷曰松本曰出合曰陰宅曰　　藤白谷曰湯元

曰研屋下曰杉佐古曰飯谷曰　　五味曰松尾曰

鍛冶屋曰志夜須曰　　里四曰添

横尾曰向宅曰新屋　　眞江曰間見

谷曰岩平曰樋口　　寺内　　小泉

高野　　澤谷　　横谷

川成里二曰井　　吉野里六曰新

向曰峯　　日浦　　客野曰夏

野曰北原曰禰　　鉢里三曰窪　　小濵

宜曰前曰原　　鉢曰岡曰下　　岩倉

牛輪里四曰櫛屋窪曰巫

神宅曰宮首曰東宅

長安里一曰

五郎谷

竹谷里六曰舊稱瀧谷後

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

大屋曰　奈加曰
局曰杉地曰石元
香下曰憩所曰廬曰四手曰
大平曰堂床曰圓石曰撮阪曰
水埼里六曰水埼原曰下水埼曰
留多曰西端曰中村曰逆巻
檜垉里四曰下廬師曰
舟戸曰陰曰中州
菖蒲里十一曰
岡田曰木

梁上
中村曰野神曰立兎曰馬次曰水端曰保喜曰蝸曰
塲處曰寺下曰片山曰西内曰北前曰
問曰第野曰奥畠曰向地曰西原曰鎌瀬曰
五郎田曰五味曰
岡田曰海平
間曰堂平間
畠曰平間曰川口曰南尻曰
延野里三十二曰西窪曰
松窪曰米谷曰大墾曰
雄里十七曰
畠曰中須曰石橋曰上平間
向原曰葛伐曰陰
檜尾
請谷土里五曰城
川島

牛白三寶荒神曰堂端曰大原曰番所曰梅窪
曰五味曰黒岩曰旗鉾曰上廻曰詰瀧曰荘司
石曰善用原曰胡
麻畠曰王子原
垣内曰彌平次曰横枕曰土居内曰檜林曰
入江曰岡曰菴前曰陳窪曰太田下曰石元

百合谷　鮎川

峯谷曰空曰鍛冶屋佐古曰
新屋曰後曰局曰窪曰向田曰
蔭谷里三曰土佐田曰
田第曰上第曰
井谷里六曰小白石曰
花曰三畝

百合谷
平野里六曰谷口曰妙見前曰邊川
谷曰中原曰林谷曰井谷口
大窪
臼谷里十一曰
橋詰曰東

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

町田曰引龍曰樗曰宮前曰古田

横石 里十四曰北裏曰寺原曰竹曾曰下毋屋曰大壂曰西谷曰佳勝寺曰川浦曰川向曰桑原曰長野曰丈地野曰中野曰上田

音谷 里八曰上小川原曰下小川原曰田窪曰僧谷曰正木谷曰石舟曰上音谷曰下音谷

榎谷

花瀨

谷内

出羽 里五曰上窪曰下窪曰上第曰柚樹曰栩平

西納 支落二曰内山曰相名里十五曰栗見谷曰八面谷曰葛籠中尾曰西地曰戶丸曰太平曰道替曰隱盧曰餅瀨曰竹平間曰宮谷曰東谷曰西谷曰菅佐古曰上平間

木頭名 里四曰寺野曰栩帯曰上平曰彌平次

厚江 里四曰竹陽曰岡曰朴野曰研屋

當山 里九曰田窪曰梅窪曰岡曰井元曰桃佐古曰西曰横尾曰下宅曰松原

木頭 里十二曰仁義曰下田曰上田曰蝙蝠曰内野瀨曰川尻曰廣野曰細尾根曰轟谷曰松下曰恐尾曰桑野阪

東尾

馬路

阿井 里五曰西浦曰湯谷曰天狗谷曰田谷曰高野谷

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

五千八百二十八町六畝三十三歩八釐一毛

土田

立江水田陸田二百畝櫛淵十陸分田十分之八十分之二十水田二

八十六畝八幡町水町陸二町二陸田九町七段大林之陸田九百四十分之一十三分百之三十水分豊浦陸水

六田畝六町阪野水陸田段三百三畝六田畝十八之二十水陸田

七畝六段九町六畝十町五段三町十町六田畝十黒地水陸田

町段大林之陸田九百四十分之一十三分百之三十水分豊浦陸水

島尻町水五陸田段六七十畝和田島

二陸二段四十六畝小延田水陸

段田十町水陸田段五

八十六畝八幡町水町陸二町二陸田九町七段大林之陸田九百四十分之一十三分百之三十水分豊浦陸水

六田畝六町阪野水陸田段三百三畝六田畝十八之二十水陸田

七畝六段九町六畝十町五段三町十町六田畝十黒地水陸田

町段大林之陸田九百四十分之一十三分百之三十水分豊浦陸水

島尻町水五陸田段六七十畝和田島

二陸二段四十六畝小延田水陸

段田十町水陸田段五

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

段八畝江島水陸田五十九町九段六畝色島水陸田三十六町四段七畝
今津水陸田六十二町七段芳埼水陸田三十五町四段三畝刈屋水陸
田七十町四段三畝工地水陸田三十町四段三畝上福井水陸田三十七町四
段北中島水陸田二十二町九段九畝中島水陸田七十九町三段四畝
古津水陸田二十一町九段六畝三栗水陸田十三町五畝赤池水陸田三
十四町四段三畝大京原新墾水陸田十九町八畝原水陸田二十四町一段三
畝中莊水陸田四十町八段七畝宮倉水陸田七十九町三段一畝岩脇
水陸田九十三町二段六畝西原水陸田三十四町七段五畝古莊水陸田四
十一町四段六畝古毛水陸田三十九町南島水陸田五十四町七段五畝
岡水陸田四十五町三段六畝柳島水陸田百二十五町九段九畝横水水陸
田百二十五町四畝原埼水陸田三町七段七畝黒土地方二百歩餘無田領
家水陸田三十三町三段西路水水陸田七十六町五段八畝中林水陸
田五十七町六段六畝西水水陸田五十八町六段二畝七水水陸田二十七
町九段六畝日開野水陸田四十五町八段一畝水潟水陸田十七町八
段三畝學原水陸田二十七町二段八畝中原水陸田四十一町六段一畝
石塚水陸田五十四町八段一畝富岡陸田十七町六段四畝今市水陸

田七十六町七畝

隆善寺 水陸田五十八町三段一畝

上大野 水陸田六十六町七段

中大野 水陸田六十四町五段八畝

下大野 水陸田百九十二町六畝

西潟 水陸田四十四町二段九畝

本荘 水陸田八十二町

宮内 水陸田二十一町七段六畝

三倉 水陸田三十七町九段七畝

明谷 水陸田五十三町五段三畝

下荒井 水陸田七十八町七畝

上荒井 水陸田二十五町

大原 水陸田五十町六段四畝

桑野 水陸田七十八町七畝

廿枝 水陸田五十九町九段七畝

山口 水陸田百七町二段九畝

北荒田野 水陸田百五十町九段九畝

南荒田野 水陸田百七十五町六段一畝

内原 水陸田七十二町三段九畝

呑島 水陸田百五十町三段一畝

橘 水陸田七十七町五段七畝

椿地 水陸田六十九町六段一畝

椿 水陸田百二十二町一段

椿泊 陸田二町四段

下福井 水陸田百六十五町三段五畝

加茂

吉井

楠根

深瀬

十八女

水井

大井

細野

和食 水陸田七十一町一段三畝

和食街 水陸田五町八畝

土佐街 水陸田三町五段二畝

丹生 水陸田二十町二段四畝

小丹生

水陸田二町九段四畝
水陸田三町八段十歩
水陸田四町五段八畝
水陸田四町五段九畝
水陸田五町八段十歩
水陸田六町三段十歩
水陸田七町二段十歩
水陸田七町三段十歩
水陸田八町二段十歩
水陸田八町三段十歩
水陸田九町三段十歩
水陸田十町三段十歩
水陸二町一段十歩
水陸二町二段十歩
水陸二町三段十歩
水陸二町四段十歩
水陸二町五段十歩
水陸二町六段十歩
水陸二町七段十歩
水陸二町八段十歩
水陸二町九段十歩
水陸三町一段十歩
水陸三町二段十歩
水陸三町三段十歩
水陸三町四段十歩
水陸三町五段十歩
水陸三町六段十歩
水陸三町七段十歩
水陸三町八段十歩
水陸三町九段十歩
水陸四町一段十歩
水陸四町二段十歩
水陸四町三段十歩
水陸四町四段十歩
水陸四町五段十歩
水陸四町六段十歩
水陸四町七段十歩
水陸四町八段十歩
水陸四町九段十歩
水陸五町一段十歩
水陸五町二段十歩
水陸五町三段十歩
水陸五町四段十歩
水陸五町五段十歩
水陸五町六段十歩
水陸五町七段十歩
水陸五町八段十歩
水陸五町九段十歩
水陸六町一段十歩
水陸六町二段十歩
水陸六町三段十歩
水陸六町四段十歩
水陸六町五段十歩
水陸六町六段十歩
水陸六町七段十歩
水陸六町八段十歩
水陸六町九段十歩
水陸七町一段十歩
水陸七町二段十歩
水陸七町三段十歩
水陸七町四段十歩
水陸七町五段十歩
水陸七町六段十歩
水陸七町七段十歩
水陸七町八段十歩
水陸七町九段十歩
水陸八町一段十歩
水陸八町二段十歩
水陸八町三段十歩
水陸八町四段十歩
水陸八町五段十歩
水陸八町六段十歩
水陸八町七段十歩
水陸八町八段十歩
水陸八町九段十歩
水陸九町一段十歩
水陸九町二段十歩
水陸九町三段十歩
水陸九町四段十歩
水陸九町五段十歩
水陸九町六段十歩
水陸九町七段十歩
水陸九町八段十歩
水陸九町九段十歩
水陸十町一段十歩
水陸十町二段十歩
水陸十町三段十歩
水陸十町四段十歩
水陸十町五段十歩
水陸十町六段十歩
水陸十町七段十歩
水陸十町八段十歩
水陸十町九段十歩

竹内小一郎
竹内小三郎
竹内小四郎
竹内小五郎
竹内小六郎
竹内小七郎
竹内小八郎
竹内小九郎
竹内小十郎
竹内小十一郎
竹内小十二郎
竹内小十三郎
竹内小十四郎
竹内小十五郎
竹内小十六郎
竹内小十七郎
竹内小十八郎
竹内小十九郎
竹内小二十郎
竹内小二十一郎
竹内小二十二郎
竹内小二十三郎
竹内小二十四郎
竹内小二十五郎
竹内小二十六郎
竹内小二十七郎
竹内小二十八郎
竹内小二十九郎
竹内小三十郎
竹内小三十一郎
竹内小三十二郎
竹内小三十三郎
竹内小三十四郎
竹内小三十五郎
竹内小三十六郎
竹内小三十七郎
竹内小三十八郎
竹内小三十九郎
竹内小四十郎
竹内小四十一郎
竹内小四十二郎
竹内小四十三郎
竹内小四十四郎
竹内小四十五郎
竹内小四十六郎
竹内小四十七郎
竹内小四十八郎
竹内小四十九郎
竹内小五十郎
竹内小五十一郎
竹内小五十二郎
竹内小五十三郎
竹内小五十四郎
竹内小五十五郎
竹内小五十六郎
竹内小五十七郎
竹内小五十八郎
竹内小五十九郎
竹内小六十郎
竹内小六十一郎
竹内小六十二郎
竹内小六十三郎
竹内小六十四郎
竹内小六十五郎
竹内小六十六郎
竹内小六十七郎
竹内小六十八郎
竹内小六十九郎
竹内小七十郎
竹内小七十一郎
竹内小七十二郎
竹内小七十三郎
竹内小七十四郎
竹内小七十五郎
竹内小七十六郎
竹内小七十七郎
竹内小七十八郎
竹内小七十九郎
竹内小八十郎
竹内小八十一郎
竹内小八十二郎
竹内小八十三郎
竹内小八十四郎
竹内小八十五郎
竹内小八十六郎
竹内小八十七郎
竹内小八十八郎
竹内小八十九郎
竹内小九十郎
竹内小九十一郎
竹内小九十二郎
竹内小九十三郎
竹内小九十四郎
竹内小九十五郎
竹内小九十六郎
竹内小九十七郎
竹内小九十八郎
竹内小九十九郎
竹内小百郎
竹内小百一郎
竹内小百二郎
竹内小百三郎
竹内小百四郎
竹内小百五郎
竹内小百六郎
竹内小百七郎
竹内小百八郎
竹内小百九郎
竹内小百十郎
竹内小百十一郎
竹内小百十二郎
竹内小百十三郎
竹内小百十四郎
竹内小百十五郎
竹内小百十六郎
竹内小百十七郎
竹内小百十八郎
竹内小百十九郎
竹内小百二十郎
竹内小百二十一郎
竹内小百二十二郎
竹内小百二十三郎
竹内小百二十四郎
竹内小百二十五郎
竹内小百二十六郎
竹内小百二十七郎
竹内小百二十八郎
竹内小百二十九郎
竹内小百三十郎
竹内小百三十一郎
竹内小百三十二郎
竹内小百三十三郎
竹内小百三十四郎
竹内小百三十五郎
竹内小百三十六郎
竹内小百三十七郎
竹内小百三十八郎
竹内小百三十九郎
竹内小百四十郎
竹内小百四十一郎
竹内小百四十二郎
竹内小百四十三郎
竹内小百四十四郎
竹内小百四十五郎
竹内小百四十六郎
竹内小百四十七郎
竹内小百四十八郎
竹内小百四十九郎
竹内小百五十郎
竹内小百五十一郎
竹内小百五十二郎
竹内小百五十三郎
竹内小百五十四郎
竹内小百五十五郎
竹内小百五十六郎
竹内小百五十七郎
竹内小百五十八郎
竹内小百五十九郎
竹内小百六十郎
竹内小百六十一郎
竹内小百六十二郎
竹内小百六十三郎
竹内小百六十四郎
竹内小百六十五郎
竹内小百六十六郎
竹内小百六十七郎
竹内小百六十八郎
竹内小百六十九郎
竹内小百七十郎
竹内小百七十一郎
竹内小百七十二郎
竹内小百七十三郎
竹内小百七十四郎
竹内小百七十五郎
竹内小百七十六郎
竹内小百七十七郎
竹内小百七十八郎
竹内小百七十九郎
竹内小百八十郎
竹内小百八十一郎
竹内小百八十二郎
竹内小百八十三郎
竹内小百八十四郎
竹内小百八十五郎
竹内小百八十六郎
竹内小百八十七郎
竹内小百八十八郎
竹内小百八十九郎
竹内小百九十郎
竹内小百九十一郎
竹内小百九十二郎
竹内小百九十三郎
竹内小百九十四郎
竹内小百九十五郎
竹内小百九十六郎
竹内小百九十七郎
竹内小百九十八郎
竹内小百九十九郎
竹内小二百郎
竹内小二百一郎
竹内小二百二郎
竹内小二百三郎
竹内小二百四郎
竹内小二百五郎
竹内小二百六郎
竹内小二百七郎
竹内小二百八郎
竹内小二百九郎
竹内小二百十郎
竹内小二百十一郎
竹内小二百十二郎
竹内小二百十三郎
竹内小二百十四郎
竹内小二百十五郎
竹内小二百十六郎
竹内小二百十七郎
竹内小二百十八郎
竹内小二百十九郎
竹内小二百二十郎
竹内小二百二十一郎
竹内小二百二十二郎
竹内小二百二十三郎
竹内小二百二十四郎
竹内小二百二十五郎
竹内小二百二十六郎
竹内小二百二十七郎
竹内小二百二十八郎
竹内小二百二十九郎
竹内小二百三十郎
竹内小二百三十一郎
竹内小二百三十二郎
竹内小二百三十三郎
竹内小二百三十四郎
竹内小二百三十五郎
竹内小二百三十六郎
竹内小二百三十七郎
竹内小二百三十八郎
竹内小二百三十九郎
竹内小二百四十郎
竹内小二百四十一郎
竹内小二百四十二郎
竹内小二百四十三郎
竹内小二百四十四郎
竹内小二百四十五郎
竹内小二百四十六郎
竹内小二百四十七郎
竹内小二百四十八郎
竹内小二百四十九郎
竹内小二百五十郎
竹内小二百五十一郎
竹内小二百五十二郎
竹内小二百五十三郎
竹内小二百五十四郎
竹内小二百五十五郎
竹内小二百五十六郎
竹内小二百五十七郎
竹内小二百五十八郎
竹内小二百五十九郎
竹内小二百六十郎
竹内小二百六十一郎
竹内小二百六十二郎
竹内小二百六十三郎
竹内小二百六十四郎
竹内小二百六十五郎
竹内小二百六十六郎
竹内小二百六十七郎
竹内小二百六十八郎
竹内小二百六十九郎
竹内小二百七十郎
竹内小二百七十一郎
竹内小二百七十二郎
竹内小二百七十三郎
竹内小二百七十四郎
竹内小二百七十五郎
竹内小二百七十六郎
竹内小二百七十七郎
竹内小二百七十八郎
竹内小二百七十九郎
竹内小二百八十郎
竹内小二百八十一郎
竹内小二百八十二郎
竹内小二百八十三郎
竹内小二百八十四郎
竹内小二百八十五郎
竹内小二百八十六郎
竹内小二百八十七郎
竹内小二百八十八郎
竹内小二百八十九郎
竹内小二百九十郎
竹内小二百九十一郎
竹内小二百九十二郎
竹内小二百九十三郎
竹内小二百九十四郎
竹内小二百九十五郎
竹内小二百九十六郎
竹内小二百九十七郎
竹内小二百九十八郎
竹内小二百九十九郎
竹内小三百郎
竹内小三百一郎
竹内小三百二郎
竹内小三百三郎
竹内小三百四郎
竹内小三百五郎
竹内小三百六郎
竹内小三百七郎
竹内小三百八郎
竹内小三百九郎
竹内小三百十郎
竹内小三百十一郎
竹内小三百十二郎
竹内小三百十三郎
竹内小三百十四郎
竹内小三百十五郎
竹内小三百十六郎
竹内小三百十七郎
竹内小三百十八郎
竹内小三百十九郎
竹内小三百二十郎
竹内小三百二十一郎
竹内小三百二十二郎
竹内小三百二十三郎
竹内小三百二十四郎
竹内小三百二十五郎
竹内小三百二十六郎
竹内小三百二十七郎
竹内小三百二十八郎
竹内小三百二十九郎
竹内小三百三十郎
竹内小三百三十一郎
竹内小三百三十二郎
竹内小三百三十三郎
竹内小三百三十四郎
竹内小三百三十五郎
竹内小三百三十六郎
竹内小三百三十七郎
竹内小三百三十八郎
竹内小三百三十九郎
竹内小三百四十郎
竹内小三百四十一郎
竹内小三百四十二郎
竹内小三百四十三郎
竹内小三百四十四郎
竹内小三百四十五郎
竹内小三百四十六郎
竹内小三百四十七郎
竹内小三百四十八郎
竹内小三百四十九郎
竹内小三百五十郎
竹内小三百五十一郎
竹内小三百五十二郎
竹内小三百五十三郎
竹内小三百五十四郎
竹内小三百五十五郎
竹内小三百五十六郎
竹内小三百五十七郎
竹内小三百五十八郎
竹内小三百五十九郎
竹内小三百六十郎
竹内小三百六十一郎
竹内小三百六十二郎
竹内小三百六十三郎
竹内小三百六十四郎
竹内小三百六十五郎
竹内小三百六十六郎
竹内小三百六十七郎
竹内小三百六十八郎
竹内小三百六十九郎
竹内小三百七十郎
竹内小三百七十一郎
竹内小三百七十二郎
竹内小三百七十三郎
竹内小三百七十四郎
竹内小三百七十五郎
竹内小三百七十六郎
竹内小三百七十七郎
竹内小三百七十八郎
竹内小三百七十九郎
竹内小三百八十郎
竹内小三百八十一郎
竹内小三百八十二郎
竹内小三百八十三郎
竹内小三百八十四郎
竹内小三百八十五郎
竹内小三百八十六郎
竹内小三百八十七郎
竹内小三百八十八郎
竹内小三百八十九郎
竹内小三百九十郎
竹内小三百九十一郎
竹内小三百九十二郎
竹内小三百九十三郎
竹内小三百九十四郎
竹内小三百九十五郎
竹内小三百九十六郎
竹内小三百九十七郎
竹内小三百九十八郎
竹内小三百九十九郎
竹内小四百郎
竹内小四百一郎
竹内小四百二郎
竹内小四百三郎
竹内小四百四郎
竹内小四百五郎
竹内小四百六郎
竹内小四百七郎
竹内小四百八郎
竹内小四百九郎
竹内小四百十郎
竹内小四百十一郎
竹内小四百十二郎
竹内小四百十三郎
竹内小四百十四郎
竹内小四百十五郎
竹内小四百十六郎
竹内小四百十七郎
竹内小四百十八郎
竹内小四百十九郎
竹内小四百二十郎
竹内小四百二十一郎
竹内小四百二十二郎
竹内小四百二十三郎
竹内小四百二十四郎
竹内小四百二十五郎
竹内小四百二十六郎
竹内小四百二十七郎
竹内小四百二十八郎
竹内小四百二十九郎
竹内小四百三十郎
竹内小四百三十一郎
竹内小四百三十二郎
竹内小四百三十三郎
竹内小四百三十四郎
竹内小四百三十五郎
竹内小四百三十六郎
竹内小四百三十七郎
竹内小四百三十八郎
竹内小四百三十九郎
竹内小四百四十郎
竹内小四百四十一郎
竹内小四百四十二郎
竹内小四百四十三郎
竹内小四百四十四郎
竹内小四百四十五郎
竹内小四百四十六郎
竹内小四百四十七郎
竹内小四百四十八郎
竹内小四百四十九郎
竹内小四百五十郎
竹内小四百五十一郎
竹内小四百五十二郎
竹内小四百五十三郎
竹内小四百五十四郎
竹内小四百五十五郎
竹内小四百五十六郎
竹内小四百五十七郎
竹内小四百五十八郎
竹内小四百五十九郎
竹内小四百六十郎
竹内小四百六十一郎
竹内小四百六十二郎
竹内小四百六十三郎
竹内小四百六十四郎
竹内小四百六十五郎
竹内小四百六十六郎
竹内小四百六十七郎
竹内小四百六十八郎
竹内小四百六十九郎
竹内小四百七十郎
竹内小四百七十一郎
竹内小四百七十二郎
竹内小四百七十三郎
竹内小四百七十四郎
竹内小四百七十五郎
竹内小四百七十六郎
竹内小四百七十七郎
竹内小四百七十八郎
竹内小四百七十九郎
竹内小四百八十郎
竹内小四百八十一郎
竹内小四百八十二郎
竹内小四百八十三郎
竹内小四百八十四郎
竹内小四百八十五郎
竹内小四百八十六郎
竹内小四百八十七郎
竹内小四百八十八郎
竹内小四百八十九郎
竹内小四百九十郎
竹内小四百九十一郎
竹内小四百九十二郎
竹内小四百九十三郎
竹内小四百九十四郎
竹内小四百九十五郎
竹内小四百九十六郎
竹内小四百九十七郎
竹内小四百九十八郎
竹内小四百九十九郎
竹内小五百郎
竹内小五百一郎
竹内小五百二郎
竹内小五百三郎
竹内小五百四郎
竹内小五百五郎
竹内小五百六郎
竹内小五百七郎
竹内小五百八郎
竹内小五百九郎
竹内小五百十郎
竹内小五百十一郎
竹内小五百十二郎
竹内小五百十三郎
竹内小五百十四郎
竹内小五百十五郎
竹内小五百十六郎
竹内小五百十七郎
竹内小五百十八郎
竹内小五百十九郎
竹内小五百二十郎
竹内小五百二十一郎
竹内小五百二十二郎
竹内小五百二十三郎
竹内小五百二十四郎
竹内小五百二十五郎
竹内小五百二十六郎
竹内小五百二十七郎
竹内小五百二十八郎
竹内小五百二十九郎
竹内小五百三十郎
竹内小五百三十一郎
竹内小五百三十二郎
竹内小五百三十三郎
竹内小五百三十四郎
竹内小五百三十五郎
竹内小五百三十六郎
竹内小五百三十七郎
竹内小五百三十八郎
竹内小五百三十九郎
竹内小五百四十郎
竹内小五百四十一郎
竹内小五百四十二郎
竹内小五百四十三郎
竹内小五百四十四郎
竹内小五百四十五郎
竹内小五百四十六郎
竹内小五百四十七郎
竹内小五百四十八郎
竹内小五百四十九郎
竹内小五百五十郎
竹内小五百五十一郎
竹内小五百五十二郎
竹内小五百五十三郎
竹内小五百五十四郎
竹内小五百五十五郎
竹内小五百五十六郎
竹内小五百五十七郎
竹内小五百五十八郎
竹内小五百五十九郎
竹内小五百六十郎
竹内小五百六十一郎
竹内小五百六十二郎
竹内小五百六十三郎
竹内小五百六十四郎
竹内小五百六十五郎
竹内小五百六十六郎
竹内小五百六十七郎
竹内小五百六十八郎
竹内小五百六十九郎
竹内小五百七十郎
竹内小五百七十一郎
竹内小五百七十二郎
竹内小五百七十三郎
竹内小五百七十四郎
竹内小五百七十五郎
竹内小五百七十六郎
竹内小五百七十七郎
竹内小五百七十八郎
竹内小五百七十九郎
竹内小五百八十郎
竹内小五百八十一郎
竹内小五百八十二郎
竹内小五百八十三郎
竹内小五百八十四郎
竹内小五百八十五郎
竹内小五百八十六郎
竹内小五百八十七郎
竹内小五百八十八郎
竹内小五百八十九郎
竹内小五百九十郎
竹内小五百九十一郎
竹内小五百九十二郎
竹内小五百九十三郎
竹内小五百九十四郎
竹内小五百九十五郎
竹内小五百九十六郎
竹内小五百九十七郎
竹内小五百九十八郎
竹内小五百九十九郎
竹内小六百郎
竹内小六百一郎
竹内小六百二郎
竹内小六百三郎
竹内小六百四郎
竹内小六百五郎
竹内小六百六郎
竹内小六百七郎
竹内小六百八郎
竹内小六百九郎
竹内小六百十郎
竹内小六百十一郎
竹内小六百十二郎
竹内小六百十三郎
竹内小六百十四郎
竹内小六百十五郎
竹内小六百十六郎
竹内小六百十七郎
竹内小六百十八郎
竹内小六百十九郎
竹内小六百二十郎
竹内小六百二十一郎
竹内小六百二十二郎
竹内小六百二十三郎
竹内小六百二十四郎
竹内小六百二十五郎
竹内小六百二十六郎
竹内小六百二十七郎
竹内小六百二十八郎
竹内小六百二十九郎
竹内小六百三十郎
竹内小六百三十一郎
竹内小六百三十二郎
竹内小六百三十三郎
竹内小六百三十四郎
竹内小六百三十五郎
竹内小六百三十六郎
竹内小六百三十七郎
竹内小六百三十八郎
竹内小六百三十九郎
竹内小六百四十郎
竹内小六百四十一郎
竹内小六百四十二郎
竹内小六百四十三郎
竹内小六百四十四郎
竹内小六百四十五郎
竹内小六百四十六郎
竹内小六百四十七郎
竹内小六百四十八郎
竹内小六百四十九郎
竹内小六百五十郎
竹内小六百五十一郎
竹内小六百五十二郎
竹内小六百五十三郎
竹内小六百五十四郎
竹内小六百五十五郎
竹内小六百五十六郎
竹内小六百五十七郎
竹内小六百五十八郎
竹内小六百五十九郎
竹内小六百六十郎
竹内小六百六十一郎
竹内小六百六十二郎
竹内小六百六十三郎
竹内小六百六十四郎
竹内小六百六十五郎
竹内小六百六十六郎
竹内小六百六十七郎
竹内小六百六十八郎
竹内小六百六十九郎
竹内小六百七十郎
竹内小六百七十一郎
竹内小六百七十二郎
竹内小六百七十三郎
竹内小六百七十四郎
竹内小六百七十五郎
竹内小六百七十六郎
竹内小六百七十七郎
竹内小六百七十八郎
竹内小六百七十九郎
竹内小六百八十郎
竹内小六百八十一郎
竹内小六百八十二郎
竹内小六百八十三郎
竹内小六百八十四郎
竹内小六百八十五郎
竹内小六百八十六郎
竹内小六百八十七郎
竹内小六百八十八郎
竹内小六百八十九郎
竹内小六百九十郎
竹内小六百九十一郎
竹内小六百九十二郎
竹内小六百九十三郎
竹内小六百九十四郎
竹内小六百九十五郎
竹内小六百九十六郎
竹内小六百九十七郎
竹内小六百九十八郎
竹内小六百九十九郎
竹内小七百郎
竹内小七百一郎
竹内小七百二郎
竹内小七百三郎
竹内小七百四郎
竹内小七百五郎
竹内小七百六郎
竹内小七百七郎
竹内小七百八郎
竹内小七百九郎
竹内小七百十郎
竹内小七百十一郎
竹内小七百十二郎
竹内小七百十三郎
竹内小七百十四郎
竹内小七百十五郎
竹内小七百十六郎
竹内小七百十七郎
竹内小七百十八郎
竹内小七百十九郎
竹内小七百二十郎
竹内小七百二十一郎
竹内小七百二十二郎
竹内小七百二十三郎
竹内小七百二十四郎
竹内小七百二十五郎
竹内小七百二十六郎
竹内小七百二十七郎
竹内小七百二十八郎
竹内小七百二十九郎
竹内小七百三十郎
竹内小七百三十一郎
竹内小七百三十二郎
竹内小七百三十三郎
竹内小七百三十四郎
竹内小七百三十五郎
竹内小七百三十六郎
竹内小七百三十七郎
竹内小七百三十八郎
竹内小七百三十九郎
竹内小七百四十郎
竹内小七百四十一郎
竹内小七百四十二郎
竹内小七百四十三郎
竹内小七百四十四郎
竹内小七百四十五郎
竹内小七百四十六郎
竹内小七百四十七郎
竹内小七百四十八郎
竹内小七百四十九郎
竹内小七百五十郎
竹内小七百五十一郎
竹内小七百五十二郎
竹内小七百五十三郎
竹内小七百五十四郎
竹内小七百五十五郎
竹内小七百五十六郎
竹内小七百五十七郎
竹内小七百五十八郎
竹内小七百五十九郎
竹内小七百六十郎
竹内小七百六十一郎
竹内小七百六十二郎
竹内小七百六十三郎
竹内小七百六十四郎
竹内小七百六十五郎
竹内小七百六十六郎
竹内小七百六十七郎
竹内小七百六十八郎
竹内小七百六十九郎
竹内小七百七十郎
竹内小七百七十一郎
竹内小七百七十二郎
竹内小七百七十三郎
竹内小七百七十四郎
竹内小七百七十五郎
竹内小七百七十六郎
竹内小七百七十七郎
竹内小七百七十八郎
竹内小七百七十九郎
竹内小七百八十郎
竹内小七百八十一郎
竹内小七百八十二郎
竹内小七百八十三郎
竹内小七百八十四郎
竹内小七百八十五郎
竹内小七百八十六郎
竹内小七百八十七郎
竹内小七百八十八郎
竹内小七百八十九郎
竹内小七百九十郎
竹内小七百九十一郎
竹内小七百九十二郎
竹内小七百九十三郎
竹内小七百九十四郎
竹内小七百九十五郎
竹内小七百九十六郎
竹内小七百九十七郎
竹内小七百九十八郎
竹内小七百九十九郎
竹内小八百郎
竹内小八百一郎
竹内小八百二郎
竹内小八百三郎
竹内小八百四郎
竹内小八百五郎
竹内小八百六郎
竹内小八百七郎
竹内小八百八郎
竹内小八百九郎
竹内小八百十郎
竹内小八百十一郎
竹内小八百十二郎
竹内小八百十三郎
竹内小八百十四郎
竹内小八百十五郎
竹内小八百十六郎
竹内小八百十七郎
竹内小八百十八郎
竹内小八百十九郎
竹内小八百二十郎
竹内小八百二十一郎
竹内小八百二十二郎
竹内小八百二十三郎
竹内小八百二十四郎
竹内小八百二十五郎
竹内小八百二十六郎
竹内小八百二十七郎
竹内小八百二十八郎
竹内小八百二十九郎
竹内小八百三十郎
竹内小八百三十一郎
竹内小八百三十二郎
竹内小八百三十三郎
竹内小八百三十四郎
竹内小八百三十五郎
竹内小八百三十六郎
竹内小八百三十七郎
竹内小八百三十八郎
竹内小八百三十九郎
竹内小八百四十郎
竹内小八百四十一郎
竹内小八百四十二郎
竹内小八百四十三郎
竹内小八百四十四郎
竹内小八百四十五郎
竹内小八百四十六郎
竹内小八百四十七郎
竹内小八百四十八郎
竹内小八百四十九郎
竹内小八百五十郎
竹内小八百五十一郎
竹内小八百五十二郎
竹内小八百五十三郎
竹内小八百五十四郎
竹内小八百五十五郎
竹内小八百五十六郎
竹内小八百五十七郎
竹内小八百五十八郎
竹内小八百五十九郎
竹内小八百六十郎
竹内小八百六十一郎
竹内小八百六十二郎
竹内小八百六十三郎
竹内小八百六十四郎
竹内小八百六十五郎
竹内小八百六十六郎
竹内小八百六十七郎
竹内小八百六十八郎
竹内小八百六十九郎
竹内小八百七十郎
竹内小八百七十一郎
竹内小八百七十二郎
竹内小八百七十三郎
竹内小八百七十四郎
竹内小八百七十五郎
竹内小八百七十六郎
竹内小八百七十七郎
竹内小八百七十八郎
竹内小八百七十九郎
竹内小八百八十郎
竹内小八百八十一郎
竹内小八百八十二郎
竹内小八百八十三郎
竹内小八百八十四郎
竹内小八百八十五郎
竹内小八百八十六郎
竹内小八百八十七郎
竹内小八百八十八郎
竹内小八百八十九郎
竹内小八百九十郎
竹内小八百九十一郎
竹内小八百九十二郎
竹内小八百九十三郎
竹内小八百九十四郎
竹内小八百九十五郎
竹内小八百九十六郎
竹内小八百九十七郎
竹内小八百九十八郎
竹内小八百九十九郎
竹内小九百郎
竹内小九百一郎
竹内小九百二郎
竹内小九百三郎
竹内小九百四郎
竹内小九百五郎
竹内小九百六郎
竹内小九百七郎
竹内小九百八郎
竹内小九百九郎
竹内小九百十郎
竹内小九百十一郎
竹内小九百十二郎
竹内小九百十三郎
竹内小九百十四郎
竹内小九百十五郎
竹内小九百十六郎
竹内小九百十七郎
竹内小九百十八郎
竹内小九百十九郎
竹内小九百二十郎
竹内小九百二十一郎
竹内小九百二十二郎
竹内小九百二十三郎
竹内小九百二十四郎
竹内小九百二十五郎
竹内小九百二十六郎
竹内小九百二十七郎
竹内小九百二十八郎
竹内小九百二十九郎
竹内小九百三十郎
竹内小九百三十一郎
竹内小九百三十二郎
竹内小九百三十三郎
竹内小九百三十四郎
竹内小九百三十五郎
竹内小九百三十六郎
竹内小九百三十七郎
竹内小九百三十八郎
竹内小九百三十九郎
竹内小九百四十郎
竹内小九百四十一郎
竹内小九百四十二郎
竹内小九百四十三郎
竹内小九百四十四郎
竹内小九百四十五郎
竹内小九百四十六郎
竹内小九百四十七郎
竹内小九百四十八郎
竹内小九百四十九郎
竹内小九百五十郎
竹内小九百五十一郎
竹内小九百五十二郎
竹内小九百五十三郎
竹内小九百五十四郎
竹内小九百五十五郎
竹内小九百五十六郎
竹内小九百五十七郎
竹内小九百五十八郎
竹内小九百五十九郎
竹内小九百六十郎
竹内小九百六十一郎
竹内小九百六十二郎
竹内小九百六十三郎
竹内小九百六十四郎
竹内小九百六十五郎
竹内小九百六十六郎
竹内小九百六十七郎
竹内小九百六十八郎
竹内小九百六十九郎
竹内小九百七十郎
竹内小九百七十一郎
竹内小九百七十二郎
竹内小九百七十三郎
竹内小九百七十四郎
竹内小九百七十五郎
竹内小九百七十六郎
竹内小九百七十七郎
竹内小九百七十八郎
竹内小九百七十九郎
竹内小九百八十郎
竹内小九百八十一郎
竹内小九百八十二郎
竹内小九百八十三郎
竹内小九百八十四郎
竹内小九百八十五郎
竹内小九百八十六郎
竹内小九百八十七郎
竹内小九百八十八郎
竹内小九百八十九郎
竹内小九百九十郎
竹内小九百九十一郎
竹内小九百九十二郎
竹内小九百九十三郎
竹内小九百九十四郎
竹内小九百九十五郎
竹内小九百九十六郎
竹内小九百九十七郎
竹内小九百九十八郎
竹内小九百九十九郎
竹内小千郎

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

水陸田五町一段二畝横石水陸田二十一町八段四畝音谷三等雜水陸田
三町六段六畝榎谷水陸田三町一段花瀬水陸田四町八段八畝谷内
三等雜十九町二段九畝出羽水陸田四町三段西納屬邑内山相名共水陸田
二十四町一畝三等雜木頭名水陸田厚江水陸田一町五段八
畝當山水陸田二町二段九畝木頭水陸田三町五段九畝東尾水陸
田二町七段九畝馬路水陸田六町八段九畝阿井水陸田十六町四畝

租稅

四萬二千百八十二石九斗三升一合元祿

五萬八千四百三十五石三斗九升七勺三撮

立江三千九百二十七石二十分之一爲采地櫛淵六百九十五石十分之四爲采
地大林千六百六十九石十分之八爲采地豐浦三石餘別納壓錢五十一萬餘
幷銀餅十六錠許阪野二千五百十七石十分之八爲采地黑地六百十九石大
率爲采地八幡五百七十石十分之七爲采地手島四百石四分之三爲采地敷

地二百二十二石總爲采地
小延三百四石十分之八爲采地
島尻八百四十四石十分之七爲采地
和田五百九十五石五分之一爲采地
江島六百七十二石六分之五爲采地
色島三百六十二石三分之二爲采地
今津九百二十七石八分之一爲采地
芳埼四百十二石四分之三爲采地
川屋八百二十二石半爲采地
工地三百石大率爲采地
上福井四百五十七石四分之三爲采地
北中島二百十九石大率爲采地
中島八百二十三石半爲采地
古津二百三十七石大率爲采地
三栗百五十七石三分之二爲采地
赤池六百五十四石
大京原四百五十一石大率爲采地
原二百七十八石十分之八爲采地
中

莊千九百六十六石十分之七爲采地
宮倉九百七十七石十分之四爲采地
岩脇九百八十一石十分之七爲采地
西原三百五十五石大率爲采地
古莊二百六十八石大率爲采地
古毛二百八十一石半爲采地
南島二百五十二石大率爲采地
岡三百八十七石三分之一爲采地
柳島八百四十八石四分之一爲采地
横水千二百三石十分之六爲采地
原埼二十五石
黑土十五石六斗別納廛錢二十二萬許
領家四百九十二石十分之一爲采地
西路水七百石七分之五爲采地
中林六百五十四石五分之一爲采地
西水四百二十八石大率爲采地
七水二百二十六石半爲采地
日開野三百二十四石大率爲采

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

地
水潟 五百六十五石十分之七爲采地
學原 三百七十六石十分之一爲采地
中原 三百二十一石三分之一爲采地
石塚 五百三十二石大率爲采地
冨岡 百十八石總爲采地
今市 三百二十七石三分之二爲采地
隆善寺 四百三十七石大率爲采地
上大野 五百九十二石十分之七爲采地
中大野 六百十六石三分之二爲采地
下大野 千四百七石大率爲采地
西潟 五百四十二石五分之一爲采地
本莊 八百三十一石十分之七爲采地
宮内 二百八十五石十分之七爲采地
三倉 四百十六石十分之八爲采地
明谷 五百十石半爲采地
下荒井 千百二十四石十分之二爲采地
上荒井 二百九十一石強半爲采地
大原 五百十四石五分之四爲采地
桑野 二千九十九石半爲采地
廿枝 四百三石十分之八爲采地
山口 千五石十分之二爲采地
北荒田野 千三百七十五石十分之一爲采地
南荒田野 千七百九十九石強半爲采地
内原 六百十石大率爲采地
答島 七百二十七石五斗餘爲采地七十八石六斗
橋 七百八十九石
椿地 八百九十七石大率爲采地
椿 千二百四十三石大率爲采地
椿泊 十二石代以魚每舟一品寛永十九年以來貢五分之一代以銀尚貢海藻伊島倣此森氏領之
下福井 二千十一石
加茂
吉井
楠根
深瀨

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

十八女　水井　大井　細野　和食四百八十石和食街三十石土佐街十三石丹生百五十一石小丹生百五十六石中山二百六十二石梫百四十八石懸盤二十五石險生三十八石櫻谷三十三石朴野五十六石拜宮五十八石日眞六石寺内八石小泉二石高野五石澤谷二十五石横谷一石川成一石日浦二十二石吉野百十九石鉢二十四石小濱五十四石牛輪百二十石岩倉三石小畠十石長安二十石

竹谷三十五石菖蒲二十一石水埼二十三石檜埇二十三石請谷七十一石雄二百三十九石梁上九十四石延野百一石入野五十二石百合百三十七石朝生五十一石大窪百一石平野百七十石百合谷四十二石鮎川百八十五石臼谷三十六石蔭谷四十六石井谷四十七石横石百五十三石音谷二十八石榎谷二十九石花瀬三十五石谷内百七十七石出羽三十八石西納屬邑内山相名共九十石木頭石十石厚江七石當山十二石木頭二十四石東尾十六石馬路六十八石阿井百十石

戸口

一萬千七百十二戸　四萬七千六百三十口

雜戸百二十四戸　五百六十九口

寛政

立江 二百三十五戸
櫛淵 百七十三戸 屠戸十三戸
豊浦 二十九戸百三十五口
大林 百三戸四百六十口
阪野 三百十三戸千四百七口
黑地 七十四戸二百九十五口
八幡 四十七戸百六十一口
手島 三十二戸百二十八口
敷地 四十六戸百七十七口
小延 三十八戸百五十一口
島尻 八十六戸三百五十九口
和田島 百一戸四百六十七口
江島 八十二戸三百二十口
色

口一三十一百十六〇五福八百島
古十九口五九戸屠十井口六九四
莊二戸十口百戸四五八十十十
百五口四原二十戸十十刈五三
三十百五三赤七三九戸屋口戸
十七岩十十池戸千口三百四百
一戸脇三六百百百百百十十今
口二九二口戸二二三四北八六津
古百百百十十口口中口戸百百
毛十十中八一古島二六五
百六一三莊口戸津六四工十十
八十口戸四二八百七十十地七四
十四西十百大九十四二百六口戸
五戸原一八京口戸口戸五十五
口二二五口戸原二百十八芳口戸
南百十宮六百三中六戸埼
島二一倉戸五粟島口二二四
十七十二百六十十三百七上戸十

七四水四九口十七原口
富百五三戸西九戸黒〇百六七三
岡五十口百水口八土屠六十口百
千四十二五百九西百百戸十七岡
九百九戸水四十路三八十七百五
百九口二瀉十八水十十一戸七十
五十石二百六戸百七五四戸七五十
十四塚十三口四七十口戸五百十一
口戸屠九一戸七十三七十六八戸
今戸十口四水六戸領六十口二
市三七百八二口二家口二柳
百六十戸學十十中八三口島
九十四四原口七林口十原百七
十一戸百百二戸四百支二埼四十
七戸百十十十日百三落戸二五十一
口二六三一九開三十中百百十五戸
上十口口戸野十六村三三九口三
大五〇中十四六戸十十十戸横

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

野百四戸四百三十八口中大野六十五戸二百二十七口下大野二百
二戸八百十五口西瀉七十四戸三百七十口本莊八十二戸百八十三口
宮内四十二戸百八十二口三倉六十六戸二百三十六口明谷百二戸二
百三十五口下荒井百十九戸五百五十五口上荒井四十七戸二百三口
大原五十六戸二百七十三口桑野二百六十戸千百四十一口○屠戸二十八戸
百九十三口廿枝百六戸三百六十四口山口百八十四戸六百五十三口
北荒田野二百二十八戸千百九十五口南荒田野二百九十七戸千四
百二十口内原八十九戸百七十七口巻島五百五十戸二千五百口橋三百

五十三戸千六百八十口椿地百三十九戸五百十八口椿三百五十戸千三百十六
口椿泊二百五十戸七百二十三口半爲森氏舎人下福井三百八十七戸
千六百九十二口加茂吉井
楠根深瀬
十八女水井大井
細野和食百六十九
戸六百六十二口○屠戸二十一戸百二口和食町五十七戸二百四十一口土
佐町三十七戸百五十二口丹生四十七戸二百十一口小丹生三十

五戸百三十口中山百十戸四百八十一口梫五十一戸百九十九口懸盤三十九戸百二十口険生六十五戸二百四十三口櫻谷十七戸七十二口朴野二十六戸八十五口拜宮五十七戸二百二十三口日眞十五戸七十一口寺内六戸二十三口小泉五戸十八口高野十戸三十八口澤谷三十戸百三口横谷五戸十九口川成九戸三十二口日浦十戸四十一口吉野二十一戸百十口鉢十戸三十口小濵十九戸八十口牛輪十五戸三十口岩倉十六戸五十一口小畠二十三戸九十二口長安十四戸四十五口竹谷二十六戸百二十六口菖蒲二十戸五十口水埼二十三戸百十

五口檜埇十七戸五十六口請谷二十一戸九十五口雄七十六戸三百九十二口梁上十九戸百口延野九十二戸三百八十六口入野

百合四十二戸百九十口朝生二十四戸百二十三口大窪五十七戸二百五十二口平野五十三戸二百三十口百合谷十戸五十四口鮎川三十戸百六十七口臼谷十五戸五十二口蔭谷二十五戸百十六口井谷十六戸八十六口横石四十戸百七十口音谷二十一戸八十一口榎谷八戸三十口花瀬十八戸七十二口谷内四十八戸二百二十口出羽二十五戸七十四口西納支落相名内山共七十五戸三百二十口木頭名

十六戸　厚江　八戸
十五口　東尾　十五戸
十口　馬路　十口
百八口　酤戸　十二戸
鹽場　五十戸

山川
五山　在櫛淵村五山特立相連高均一東曰八
第三曰諏訪山有八幡祠第二曰杉尾山有杉尾祠
管廟第五曰明神山有額明神祠並産松蕈
松林　在和田浦長千餘歩廣百數十歩蒼翠上覆白沙下敷里正森某所植
那東川一北經八幡敷地小　長河支流至原村一東爲苅屋川入海延至和田入海
圓山　在岡村其形高圓
岡川　長河支流東南注經善寺古市合會下川
黒山池　在西路水方六十歩許甚深大旱不涸魚多中有石形楕曰蛇枕水甘美宜

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

酒
茶

中林山　懸崖臨海怪石羅列往〻有洞穴吐納南者形圓差高曰圓次曰中島一稱飛島次有巖如岸幘曰烏帽子鷹鷂所産其西北有岩屹立似石人出水五尺名二百歩許形似蜂腰血柏生曰卒都婆其北有島周許奇峯若干望之皎然其前平遠白沙皚然北隅有石二丈名曰白石

清水山　在水瀉麓有水清冽

七水川　源出領家經七水西水大瀉入橘港兼葭簇生爲放鷹之地

戸冨川　在中林南流入海

前川　源出水瀉入七水川

三谷川　源出水瀉三谷引以灌漑

一堰　在石塚會下川下流長九十歩幅八歩灌漑冨岡郷九村其上水滙鯉鯽多又有閘長十二歩幅一歩高四尺五寸

大内田渠　在本荘備灌漑

宮内山　在八幡祠後東走邐逶形正平如畫一並往〻有民家

鍛冶峯　在下荒井二堰谷上石崖奇峻名曰音間

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

觀音崖　在下荒井窟谷懸崖峭扳其下有石窟安觀音石像

石門　在大原兩崖如削水經其中一路僅通南入則平田中開群山環匝行三百餘歩兩山又對立滄池出其間有石屹立在水之中央高三仞山益峻水益深路在崖半腹其景優於初開曠過之溉田凡數百頃

桑野川　源出北荒田野喜來名東流川義渓自北至廿枝西北入長谷川自西北入東北至廿枝西南入八田鹿野曰地藏曰田野曰糖塚東折至北山口此間有瀬曰櫻木曰元宮前曰高原曰會下桑野北經上荒井至大原東流爲海長七里許

川經冨岡原埼至黒土入桑野川源出廿枝注桑野川又有西小川北小川

袖瀑　在山口飛流若干丈每風雨鳴動

新堰　在荒田野元和四年森某造高堰寛永二年造皆桑野川上流

南小川　源出南荒田野元信名至川又名入桑野川源出椹村界至北荒田長谷川　源出内原東野中牓示入桑野川

古川　源出内原東注桑野川

明谷山　在明谷村南東足往二有石而起名曰轉石南腹松樹楚二有寺亦稱明谷山南道左桑野川下流東涯有小祠立其中有如人

濁淵　在明谷山南道左桑野川名曰岩埼怪岩往二屹立其中有如人立者名曰僧岩

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

津峯　高峻松多頂有賀志波比賣

橘浦　祠東有獅子石形侶鼈獸
島六曰辨天島在港之中央小而峻周僅
九十步上安辨財天祠曰名曰長島右最大周
長如偃周六百步曰小勝島在長島前周三
千八百步批驗所二區有神廟稱和光有鼠無
他獸曰高島在其背隣袴山周千二百步漁戶一曰羌
僅三曰中島在長島前周三百步漁戶一曰羌
活島在中島南周百二十步許袴山在港南

犬川　源出長谷東至椿村入海

燧埼　在椿泊以瀕南海風濤常起雁又
伊島　或稱湯島在南海中距椿泊三里其間有
亂礁如雁齒舟行甚懼畏其頂稱卒都婆

崖有大悲閣其像舊在樟木穴中寶曆中森氏
作閣安之三十三軀者土人所置昔釋光勝來
遊國初放所獲韓人其裔今分爲四十八戶血柏多

椿泊　裏海寬宏有島三曰舞子島曰野二島曰飛島

觀音崖　在下福井彌谷高九丈幅十尋又有石
崖可容數人又有石上汚名曰硯石

逆瀨川　源出下福井護世山東至遠持畠西折
繞下原復東至本村爲福井川至湊入海

幸阪　亦在福井下村東臨幸
濱椿泊諸島可指數

蒲生田岬　形若長蛇蜿二入海其
麓有石鏡三十年前崩

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

椿地川在下福井源出撃金阪東流至椿泊入海又有小川五曰大圓川曰河内川曰小野川曰馬地川曰古津川

八足淵在十八女村

王屋嶽亦在十八女村

牛王林在深瀬村有瀑布亦稱牛王直下三丈許古藤多各圍二尺許花時可觀又有猿瀑並下流入長河

長河其源三一出海部郡木頭幸瀬山至平村日和多溪自西入東至北川船溪自南入久井溪自北入至折宇折宇溪相溪亦並自北入至西宇為之北川一出勢河谷東流高河溪自西南入柄溪自西北入至宇井内大溪自南入北至西宇為之南川二流至此而合經南宇椛田至本村出原溪久乘溪自南入蟬溪自北入至助村海河溪自南入至平谷府殿溪尉溪亦自南入至本郡日真一出本郡丹生谷猿淵南猿溪自東入西叉溪自西入更東流岡山溪鎗戸溪寒葉溪中溪並自南入燒山溪小竹原溪自北入至岩倉黄檗溪自南入丸落溪自北入至川成後溪自北入至横谷檣溪亦自北入過小畠澤溪花草溪菊千代溪並自北入經小泉至阪州出羽溪西流至木頭名寺内溪東流亦至木頭名共南折而入更南至木頭奈為瀬溪自東入經拜宮遂至日眞二水合流南注長安溪臼溪自東入至小濱古屋川自西南入至櫻谷西折繞水埼至音谷經日浦朴野至西納野請溪自北入經大窪至吉野赤松川自南入

至築上北至鮎川井溪自西入至平野谷内溪自西北入經朝生至百合西繞小丹生東至和食南川中山溪合流自東南入西折至細野北繞大嶽此間有閪瀨曰瀨東至加茂加茂溪自南入經吉井至楠根有堰曰楠根堰差下岐流相半挾西原至上大野而合亦有堰二一曰大野一曰廣瀨經中大野至下大野亦復有堰二一曰竹原一曰八貫支流南注爲岡川至南島支流北注爲那東川有堰曰大堰手至岡復岐流挾中津島至中原有堰經大京原赤池會中島入海長四十餘里通載船皆平底岐首長僅二丈許濶五尺一人在後盪以下極爲輕捷

蛇淵　在花瀨土人乞雨長河水所瀦以下五瀨並係長河

白保瀨　在大窪有懸崖曰千把

瀧瀨　在鮎川

鵜首瀨　在延野段所下

閪瀨　在長河水底亂石相綴舟泝以避之凡五六曲楫在其艫

曰瀨　在閪瀨下流兩岸挾峙其中有圓石而起物觸則嚮左旋呂避之急湍奔瀉危嶮不可謂過之有灣廣可容數十艘舟人至此相共賀無恙

燧嶽　在大井村西北土馬腦出土人取以爲燧因名

大龍嶽　亘和食細野水井加茂四村南麓有石洞相傳昔有龍而居因以名山本郡高

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

山多而孤秀巍然老樹翁欝斧斤不入者殆千年前徑壁立百餘仞者南捨身也架橋以通小堂之外投足無所後徑又有崖霞擧宛如石筍北捨身也斗絶不通攀雲梯以登上坼成稜高低參差其間安石龕前僅可容一人

須彌山大龍嶽南峯或省呼彌山古木蒙密有深潭深不可測右折而入則石紋隱起悉成龍鱗土人乞雨有石竅漏光如天窻然其二曰不動窟鞠躬以入其内廣丈餘有石佛其上鍾乳下垂其三曰鐘窟有石如鐘倒懸叩之鏗然有聲其四曰正地窟口窄而内濶可容數十人又堂前杉樹不動窟時有聖燈燃

犬返阪在和食南又有姥嶽猿巖及崔山

高野山在中山大龍寺僧所領

長谷川源出馬醉村國實至荒田野入桑野川

櫛阪在馬醉東南原野近開滄海遠見巔有祇園祠

西林亦在馬醉林木茂欝中有淵五側有龍祠土人乞雨

藤助山亦在馬醉

卒都婆峯亦在馬醉

巻尾山在懸盤

十郎山在朴野

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

七浦山　亦在朴野

大釜溪　在澤谷源出名西郡界左右皆官林樹木鬱茂有淵二大者曰大釜小者曰小釜村民爲雩所又有度谷八龍及菊千代並爲禁山

苔山野　在吉

禮谷山　亦在吉野

夏谷山　亦在吉野

鉢谷山村　在鉢

碁盤崖　在小濵壁立二十仞頂如碁秤可坐數十人枕澗帶飛瀑可觀

臼瀑　石屏二丈許水簾直下深潭兼之有龍祠乞雨

葛谷　在水埼為埜山又後谷高畑古屋木三山並爲禁山

南山輪　在牛

北山牛輪　亦在

高白山　在小畠頂有危石呼臨石村民乞雨又有温泉在志紀美名呼金湯入若干百步有淵二曰後生曰不動又入得懸崖呼篠木影嶽

鎗掛淵　亦在小畠絶嶮不可行相傳昔有人以鎗代梯以渡曰名自鎗渡山至麻殖郡劍山之雷也

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

鎗渡山　亦在小畠廣且高至土佐界樹木蔽翳
澗四里長七里許此間多熊毎
秋穿而殺之其機名曰阿西
請谷　在請谷村樹木蒼翠又有栗木
谷川島谷十郎山並爲禁
龍山　挺秀且茂上
有龍祠曰名
葛籠山　上有堂安地藏像土
筐負來曰以名山以上二在竹谷
浦峯　在菖
蒲
弱宮嶽　亦在
菖蒲
卷小屋山　亦在菖蒲喬木
茂生爲禁山

笠山　在檜垉以形似名又
有青越櫟下等山
大蔭山　在雄
村
高圓山　在延野土
人乞雨
入埜嶽　在入野
民雩此
大日裏山　亦在
入埜
河野峯　在百
合
高野峯　在朝
生
布岨山　亦在
朝生

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

釜淵在大窪小屋谷林木環繞土人乞雨又有小山曰中山孤立村落中

神通山在蔭谷

露口山在横石又有釜瀧山

二又山在花瀬又有津兄美上山音谷向山後山日浦向山

新坊山在谷内又有箸贅山石出山淵山猫

谷山中山奥政山板橋山出淵山姥嶽

西納川源出干請谷經西納川入長河

前川頭名更南注長河

日裏山在木頭名又有鳥荒山

源出出羽西至木

黒瀧山在厚江高峻茂鬱中有廢城高低四區

藤原爭行所據北麓石崖絶嶮溪水下

流有淵三曰龍宮曰龍王曰陽土人乞雨

秋月山亦在厚江

赤松山在當山又有大左古山

北又川源出木頭奈爲瀬至宇奈爲祠前水中有石曰龍宮石土人乞雨其東有石曰

圓石高二丈許安干磯石上俗傳神之所遊也

里人畏敬且下竹木者必祭而過至拜官有湍

二曰大竹曰小竹南注長河

高山權現嶽有窟其深不可知石皆白色或懸或峙往ニ爲戸牖又有水清冽能入者稀

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

樹木蒼翠有楮樹最大相傳東西枝隔弁更葉生

權現嶽在瀧脇

杉山在東尾又有杖立山栗阪山谷奥山

龍山亦在東尾巔有石特立呼爲帽子村民爲雩所不動窟亦在東尾長十二歩高九尺深一丈有瀑布而懸安不動石像

觀潮阪在馬路

星窟亦在馬路方二丈許側有瀑布飛流數丈

土産

稻此郡最多

鱵郷名甲買四一種長身者郷名思事青色無鱗喙如鍼肉白味美

索玉吏即郷名似鱵魚色深青上下喙同者脂多採爲白

蓑又可爲燈油

王餘魚

烏賊

杜父魚和名伊西木尺

琵琶魚郷名安美珂户吳都賦所謂鮫鰩琵琶是也

青貫

海鰱

牛尾魚

梭魚

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

安和奈
圓如箭幹喙長殆與身齊尾有岐垂
黃線一條有赤白二種並味不佳
骨宴木蒲西即鄉名似鱸而有斑點
海蝦鄉名一設宴皮大者尺許色紫
煮則赤如朱冬最盛味甘美
黃花魚和名骨尺鄉名
石腹中有白鰾可作膠九月盛出一種
灰青色者鄉名女別以外棘鬣
魚鼠頭魚大口魚亦皆有石
木席即鄉名又呼眉
石伏魚形扁長色赤
鄉名珂吏烏和名一識蒲西
虎魚鄉名和珂十色
微黑首匾鰭大
火筒嘴鄉名羊隑郎橘
浦出無鱗形長
鯉魚鄉名胡子婆佪鰻鱷
黑紋無鱗又身差細長有小孔目不小者
呼安奈趨搗以爲肉脛色潔白味美以魚腸爲
媒則聞香來聚短鈎釣之字古通作鱣後漢楊
震傳云有鸛雀啣三鱣魚
荀子云魚敝鮪鱣是也
鰻鱷和名胡奈及溪産眼傍有孔背有白點者
八目鰻鱷土人餌食以療疳又有呼趨
買胡奈及
者産溪間
馬鮫魚
免紫吉即鄉名佪鯧魚更匾無鱗色青
白大五六寸熟則骨變蒼緑
達甲訥化即鄉名青質有黑點
細鱗形匾長一尺許
一索及即鄉名形狹長色深黑
細鱗夏多出長一尺許

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

金絲魚 鄉名一多玉吏侶棘鬣魚狹長背有金絲四條清人呼金絲魚或金線魚正名未聞

眠伴叠 即鄉名扁身大口瞋張色微黑鱗小一種有赤點者呼安甲眠伴叠深黑者呼古魯眠伴叠有黑點者呼達結訥珂眠伴叠身差扁淡赤色無紋者呼珂天眠伴叠

竹麥 鄉名灰烏婆烏色微赤首銳而大身圓而細頭骨隆起鰭尾有文采長一尺許

火魚 鄉名甲奈豈識樂侶竹麥而小長鰭色微赤長六七寸

胡叠眠 橘浦出形侶海鯔而圓爲養灸食或淹藏以鬻

伊雪趯喜

訥獨骨索吏 即鄉名色微黑身長其咀如削

寒ゝ伊 即鄉名又呼安伊奈眠身匾鱗小色黑有斑紋

箬葉魚 鄉名烏識訥識巻細鱗無尾黑色者口下曲有間道者口曲上呼識買胡識訥識巻

海鰩魚 和名宴喜鄉名宴又有伴樂越頭尾有硬刺胎生其胞如蔘螺子而赤黑色

華豈容烏和 即鄉名形匾圓色青鱗細腹有雙帶

木烏紅

鯧魚

骨魯烏紅 即鄉名河痤黑色細鱗頭大長五六寸許

喜太

別樂

古魯別 即鄉名又稱葵連似海鯽而黑

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

大者不過六寸

鷲毛脛出

狗母魚

鱗首似狗母魚無尾有黑點胡蝶者最有毒一種頭大身長白色帶赤者鄉名奈趨羊非葵大者不過五六寸

識灰

狀狹薄而長如刀首甚小無鱗及尾其子味美或作鱭一名刀魚

木喜眠尺

差短者近尾有黑點

安革伴

鯽魚

越所本獨吉

河豚和名非骨又名非

天吉吏

即鄉名鯊魚之屬又呼奈吉吏

橘浦

即鄉名鯔魚細

喜眠尺木獨吉

即鄉名侶金絲魚目及口大眼並小色黃赤色淡黃色腹微白口小長不過五六寸子自口生

紫美別樂

即鄉名狀侶條魚口眼並小色黃赤色者並無間道不區巨眼細鱗色微黃有黑點相似目際平有小刺土人云化爲蟾蜍有黑點大者呼甲古連代喜深青色帶黃近尾有黑點

者有微黑間道三條又有赤色淡青色者並無間道

伊疎子美及

即鄉名狀侶沙魚首大似與荅海鱷而小背淡蒼

陪ニ年

即鄉名狀與荅眠伴壘結訥箇

荅奈趨

即鄉名狀侶棘

荅喜治

鬣魚細鱗灰色

私容養吉

即鄉名狀與相似

買篤胡和

即鄉名首大長

灰

即鄉名

光

鬣

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

有小刺又挾鬣
有黑點如正鵠

白有二條黑紋及長
鬣腹及鰭尾並黃
沙首大而有一角尾
不岐剥皮而食之
似差長灰白色背帶青
角腹有兩角尾有岐有聲
木蒲識 即鄉名似鮒
差長鱗疎
帶黃腹淡
白有紋
稜有喙
色淡黑
口差鋭小者
尺二古兕吏

訥婆吏荅天 即鄉名扁
甲花化及 即鄉名身扁
紫訥胡和 即鄉名狀與
胡密古尺奈化 即鄉名
荅買眠 狀似海鯽而長
奴吏和結 即鄉名扁
木花捷 即鄉名似沙魚
首不扁背黑色
聲似鼠
首有一

甲奈獨 即鄉名狀似
竹麥魚有角
不過六寸
細鱗如鎊
者往二見獲大
者以喙刺船
安伊 即鄉名狀扁似棘
鬣魚黑色口甚小
胡伴安沉 即鄉名又呼
奈識似鯧魚
味美
篤眉趨 狀似海
鯧鱗起
頗
佳

養私吏坐珂 即鄉名狀
似海鯧大
革沉吉獨烏識 即鄉名
其子小
古葵 即鄉名狀
鯖魚膩多
黃隑 即鄉名狀扁與眠
伴壘相似有間道
一隑寐 即鄉名圓頭大
鱗侶鯉而扁味
珂誨吏胡和 即鄉名
似海鯽
篤及

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

化傑　即鄉名似葉無鱗小者呼喜胡尺化
傑味佳黑者呼古魯化傑膩最多
吉養烏隑連　即鄉名狀似青貫
似鱸而赤　美路　一呼化荅美魯一
呼安革　即鄉名狀
眉路　和名安沉色青身細兩背有銳鱗一
竹筴　種白紋成八字者俗呼識買安沉
紫伴古樂烏和長身有翼黑點多善飛
篤鳧烏和　即鄉名舊說爲文鰩恐非翼也
質青白而無文長鰭非翼也
青箭魚
年珂蒲甲　即虎頭鯊小者
棘鬣魚　珂俗吏長不過三寸一種有白
點者不大

別女魚　即鄉名又呼玉荅眉誨胡或呼宴皮私
代喜似棘鬣魚而小色濃紅備前呼索
古郎　鱒和名買四或曰日本紀所謂腹赤是也
代喜
烏頰魚　鱸

甲子和　識鳧
喜眠席奴　即和名鄉名喜免席香褐色有黑間
道二條及鬚緒尾黃質有黑點肉白
而輭長四五寸夏月出
海鰻　亦出　風海鰻
章魚　諸浦出暴乾以鬻
海鱙　每歲大率數千石
其子呼訥代尺
脯鰲

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

海參　橘浦出身瘖瘤多者味美又去腸而熬爲
乾海參五雜俎云一名海男子其性温補
足敵人參　鰡鯧淹之爲醢香味可
故曰海參　有黄腸三條
愛　石決明　又有小而扁者
　　鄉名奈隈連珂
又呼多珂蒲識大者一寸
四五分肉多季春盛出
拳螺　牡蠣　中林出大
玉珧　土人呼荅尺隈喜即荅希樂及橘浦
出大者一尺四五寸大於板野郡産
海扇　海膽　鄉名胡女隈兒
裙帶菜　子婆古吏

鼈　長川出
生狀如亂絲又似卷
栢土人用以療折傷
灰羊訥吏　即鄉名伊島出
似海羅而黑

識花　蠻人呼天美治疊
紫菜　木眉治疊着石而
買和名安
訥吏

海羅　水松
海薀　頭髮菜
子疊木　即鄉名狀圓如莞中虛
色微赤土人呼六部苔
買魯珂美蒲　即鄉名狀侶莞暴則雪
白長至一丈可以作羹
美甲侄訥吏　吉養烏訥喜木　即鄉名
伊島出

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

鹽濱曰西路水曰大瀉　四村並製曰荅島曰長

葛粉　蕨粉

地膏　和田浦出多松氣欝蒸而成
沙産爲多山産者硬而味美

椎蕈　石耳亦出　茅蕈　郷名珂烏達
山豆　丹生谷險　木耳　結丹生出
生林出　海部美馬
三好亦出

蕈菜　明谷桑野出　白扁豆
荒田野出

五倍子　栗　木頭丹

茶　釣藤　川田津出

仙茅　大葉者下福井五勢山出

扁柏　大葉欅

卷柏　長河兩崖出

四訥吉　即郷名叢生高二三尺色赤而滑其汁微酸可以代醋或呼珂美免

黄楊　郷名紫傑所在出

柞木　和名珂免

檀　挺生不曲皮厚青澤葉對生狹長有鋸齒村童弦以爲弓呼曰買予容或予密及

槻　和名紫吉訥吉郷名子吉傑養吉似欅而木理麁似韌而不韌可爲弓材和歌所詠是也

一種麁理堅硬者　欅　所在出

郷名一識傑羊吉

私葵訥言　郷名或呼私訥吉葉似

枇杷挺生可爲棍材

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

牛皮消　郷名一結買　大龍山出

穀布　一名抹香

夫須蓑　玉火石　出大田井及加茂

以爲燧又可爲壓口又　石灰

中林出者稱珍太郎　大色青如藍採

代赭石　百合出

蜂蜜　丹生和

蘭綿　同上

雀　秋眞雀來春去其種三曰眞雀黒色胸腹有白黒斑赤脚

其羽可作矢曰黒雀白頸赤脇灰白翎端黒

佳曰白雀郷名疎佂葵魯色白翎端黒味極美曰

鷹　伊島及椿泊出

鷲亦出

鳥　郷名喜識古喜似雁而大頸灰色

江翼深黒尾本白末黒腹白有黒點

雁　其種三曰眞雁蒼黒色胸腹有白斑

黒嘴味美曰花樂十魯差小腹白肉輭味美脚

曰甲吏隘奴雁而小色蒼黒

腹斑額淡白眼邊黄嘴微赤

鳧　其種甚多曰緑頭郷名眞鴨

背灰色腹翼深緑末白味美

甲別最小亦味美曰冠鳧郷名葦鴨

青緑微黄有冠毛嘴脚並黒翼灰色胸黄赤有

小黒點腹明白背灰白有赤黒毛雌者頭灰色

身灰白有小黒點曰索吉隘木又呼鴨差小

色淡黒鼻有瘤不與餘鳧同去夏月味佳曰安

華隘識樂又呼猩〻頭曰華識隘木山栖食櫧

實茶褐色曰密珂隘木又呼九郎

白色有冠毛碧黒眼黄嘴脚並黒善没水曰識

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

南隂又名骨尺隂木又呼骨壘買隂木頭青黒
首有白環紋背黒腰白善没水拾遺集云志奈
我鳥以奈廼不芝原飛渡鴨乃羽音廼面白哉
日喜多吏又名和奈隂々木日安怡索形小頭
背灰色腹正白脚赤嘴赤而鋭長食魚有臭氣
萬葉集所詠者是也又稱羊買安怡索者差大
此類甚多日喜樂骨尺日骨買索甲並味不美
日結吏大如鳩頭背灰黒胸腹並白領末黒尾
短有黒點嘴黄赤而末
黒脚長而黄赤善捕魚

鵠

有大小二種大者罕
至小者和名骨葵喜
土名葵々免吉大如秧鷄頭背灰色捷
飛難捕射侯棲鵠説者謂鵠小鳥是也

秧雞

和名骨喜奈其種二日黒鳥又稱雉秧雞
冬出日緋秧雞差小頭背黒赤胸腹脚嘴
並紅聲佀人
敲户夏出

革西獨吏

即郷名大如
鳩皂領白眼

有白晴好善食
櫧實其肉腥
小蟲
食

鶉

所在
多

鳲鳩

郷名大蟲食又一
種似鶯小者郷名
子葵密
土名革
奈吉々

鷸

郷名鳥伴識及微黒
色有黒點嘴長五寸
許一種大如鶉者土名非多識及或呼灰篤識
及差小嘴脚長者土名灰所識及或呼買識及
首有白環紋者土名苔識及又革花樂伴識吏
頭白眼旁有黒條頭有白間道者土名吉羊鳥
吏吉識或京女赤黒斑嘴
曲而長土名識羊古識

奴革喜花

即土名又呼
奴甲獨吏

信天翁

郷名安灰胡獨
吏輟耕録云塘
濼之上有禽二種其一類鵠色正倉而喙長嶷
立水際不動魚過其下則取之終日無魚亦不

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

易地名曰信天緣其一類鷲奔走水間腐草泥沙唼ニ然盡索乃已無一息方休名曰漫畫

睢鳩　石蜘蛛　和名奈下福

蝸羸　和名奈郷名女奈下福井逆湍川出者尾大缺

秦龜　名一識岸眠久者生岐

自然銅　出木頭

敵鳳足　蕨石　橘浦篠阪出質堅色蒼有竹葉紋

竹葉石　橘浦篠阪出質堅色蒼有竹葉紋

烏密私事　即郷名又名化珂非葵形方如筐

眠肌有龜紋口尾並小長五六寸其

苔島

椿泊出稱鎧石色紫赤可觀爲硯可

中林出質與灌頂瀑土砾瑙同

餘鱗族異形者橘浦最多不可勝記

葵疎骨代喜

子骨伴牟　木頭出灌木皮有細紋葉對生輙而鋭三月開白花實圓色微白有三帶

羊婆奶　郷名伊子吉

如蟬翼醃藏以爲羹

棒蘭　即郷名伊島出

綢魚　郷名四事眠烏和又

海牛　郷名金剛有紋如麻葉

石介　中林及下福井出

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

祠廟

和耶祠　延喜式爲小祀在宮倉村林木欝然今僻在
名三唱神名赤堀良亮每歲孟春七日民聚爲
饒速日尊十世之孫淡夜嘗取以爲大海證舊事紀云
弟彦命　部直等祖
之子

宇奈爲祠　延喜式亦爲小祀恐是其山高圓南枕北又川花十
櫻及藤多竹桓與竹夾阪道而生或曰宇奈爲
即海居也其神恐綿積命六世之孫小梨命凡海連
連安曇宿禰祖綿積命新撰姓氏録云凡海連大明命
也又云凡海連大
月二十七日授宇
奈根神從五位上

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

室比賣祠延喜式亦爲小祀荒田野南村岡山
海部郡相川村室津阿津神社其地今稱轟明神是也麓稱室窪或
姬命神代紀云吾田鹿葦津姬益恨作無戸室
入居其内誓之曰妾所娠若非天神之胤者無所害則放火焚室
必是天神之胤者無所娠若非天神之胤者無所害則放火焚室
是天神之胤者無所娠若非天神之胤者無所害則放火焚室
七日神會有市呼紙衣市有柱礎二段在水田中
相距二十圍

八鉾祠延喜式亦爲小祀在水寫村南津之崇神紀云九年三月戊寅天皇夢管
有神人誨之曰以赤盾八枚黒矛八竿祀大阪神或曰恐八阪神
神以黒盾八枚黒矛八竿祀大阪神或曰恐八阪神
千鉾神舊事紀云大已貴又名八千矛神三代
實録元慶七年十二月二十八日庚申授從三位上貞觀元年御願文授田五段
位上有貞觀元年御願文授田五段

賀志波比賣延喜式亦爲小祀荒井下村川
峯今稱津峯權現舊在北麓林木
蒼然古松一株其大無比昔時有封田若干古
事紀云羽山戸神娶大氣都姬神生夏高津日
神又名夏之賣神或曰恐鹿葦津比賣命

建比賣祠延喜式亦爲小祀或曰荒井下村川
瀬埼小鳥祠即是建姬恐高姬又稱
下照姬又天探女又稚國玉神代紀云高皇靈尊賜天稚彦之子天稚
天探女又稚國玉神代紀云高皇靈尊賜天稚彦之子天稚
天探女又稚國玉神代紀云高皇靈尊賜天稚彦之子天稚
尊更會諸神問當遣者僉曰天國玉之女子下照姬
彦是壯士也宜試之於是高皇靈尊賜天稚彦之子天稚
彦是壯士也宜試之於是高皇靈尊賜天稚彦之子天稚
來到即娶顯國玉之女子下照姬因留住之曰
天鹿兒弓天羽二矢以遣之此神亦不忠誠也
吾亦欲取葦原中國遂不復命
又云天照大神勅天稚彦曰豐葦原中國是我
兒可王之地也然慮有殘賊強暴横之神者故

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

故汝先往平之乃賜天鹿兒弓天
之天稚彦受勅來降乃多娶國神
無以報命故天照大神乃召思兼神
之狀時思兼神思而告曰宜且遣雉
彼神謀乃使雉往候之其雉飛下居于
門前湯津杜樹之杪而鳴之曰天稚彦
年之間未有復命時有國神曰鳴聲惡鳥在此樹上可射之天稚彦探女見其雉
之曰若以惡心射者則天稚彦必遭害若以平心射者則當無恙曰還投之即
昔我賜天稚彦之矢也今何故來乃取矢而咒曰此矢
矢達雉胸遂至大神所處時大神見其矢曰此
照大神所賜天鹿兒弓天眞鹿兒矢遣
畏之緣也安比賣勝浦郡建島女祖神武藏多
天稚彦之高胸曰以立劾此世人所謂返矢可
又曰恐埴安比賣勝浦郡建島女祖神武藏多

氣比賣神大和十市郡健土安神皆同
以上小祀六延喜式所載那賀郡七座今一座
屬海部郡

八幡祠 在立江村稱大宮慶長十六年源尊幸
重造七村共祀又有叢祠曰王子稱二
宮

八幡祠 在櫛淵村一山南麓源義則置祭日奏
大平樂爲騎射又有相尾祠在二山秋
元盛貞置諏訪祠二在三山下者盛貞置上者
義則置菅廟在四山額祠在五山天滿祠在東
谷喬木頗多

飛鳥祠 在大林村又有日吉祠天滿祠蛭子祠
牛頭祠八幡祠又有東祠西祠其神並

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

大日靈尊　白樂祠　在豐浦

春日祠　在阪野村大葉里連松根出盤拏殊詭里天滿祠在界野里寶藏祠又有氏宮祠櫛延祠在田北里藤太祠亦在田北里其主鎮守府將並葉軍秀鄉恐藤原武宗所置或稱地頭宮其地稱神第島祠蛭子祠辨財天祠並在川屋里

弱宮　在島村

弱宮　在敷地村

八幡祠　在八幡村稱大宮新莊十村共祭神應寺管之又有杉尾祠

山王祠　在小延村又有星祠

嚴島祠　在島尻村水田中小洲古樹繁茂其神市杵島姬命今稱辨財天又有鎮守祠

春日祠　在和田島松樹扶疏側有弱宮

王子祠　在江島久江瀨又有牛頭祠在西分瀨海松林中

野神祠　在色島

平井祠　在今津浦

菅廟　在芳埼村

神明祠　在苅屋村其神大日靈尊又有蛭子祠

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

八幡祠　在工地村又有
蛭子祠里社
藏王祠　在福井上村
又有神明祠
蛭子祠　在中島浦又有住吉祠
財天祠　浦野祠里社弁
春日祠　在中島村
菅廟　在古津村又有
八幡祠　在三栗村應永中重造
八幡祠　又有小松尾祠舊在北原地没爲河今
合食于八幡祠又有今宮寶永中造在赤池村又
御瀧祠　有諏訪祠

二宮　在大京原又有三
島祠辨財天祠
王子祠　在原村
八幡祠　在中莊村觀音山麓地甚清閑松樹疎
疎萬治元年置又有住吉祠在那東牓
示蛭子祠　在浦川貴
船祠　在高田牓示
國中祠　在宮倉村或曰其神彌都波能賣命自
一宮移又有藏王祠牛頭祠楮延祠
春日祠　在宮倉村葉浦林木蒼然景行天皇
五十七年十月置春日部屯倉即此間
星祠　在岩脇山中又有菅廟在天
神山諏訪祠　在上岩脇林
中

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

天神祠　在岩脇天日山其神大日靈尊藏金輪
一枚平一樂之曽標也農民勇左衛門
所傳

飛龍祠　在西原村

八幡祠　在古莊村林中傍有秋葉祠又有弱宮在林中

八幡祠　在南島

王子祠　在岡村又有春日祠又有弱宮即八幡

弱宮　在柳島舊奈伊瀬十二祠之一往年大水漂來又有蛭子祠在楠里辨財天祠在高

蛭子祠　在富岡街稱市場蛭子祠往年焚延享中重造

八幡祠　在今市城址又有牛頭祠蛭子祠

八幡祠　在隆善寺村稱大宮又有天滿宮蛭子祠

城山祠　在上大野城址

八幡祠　在上大野邑中數村共祀側有山王祠其西二百歩有菅廟

住吉祠　在中大野

八幡祠　在下大野芝根里

八幡祠　在本莊村泉里藏文和三年文書橘恒貞清原氏眞連署又有諏訪祠天神祠

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

總藏祠

龍祠　在本莊入河山祠側有淵竹原闔鄉乞雨

菅廟　在三倉村天滿里

八幡祠　在荒井下村郡里闔村共祀又有天滿宮在友竹並有林爲除地弱宮二一在北荒井一在大門三十番神祠在川瀨埼又有懸山祠林木欝然隣石塚山

王子祠　在大谷村北內爲除地

菅廟　在桑野村文明十五年武田彌次郎重造天文七年源元信又

菅廟　在橫水村

蛭子祠　在原埼村住吉神合食

蛭子祠　在黑土村

菅廟　在領家村琵琶原又有春日祠並闔村祀之住吉祠自芥原移

八幡祠　在西路水村祀石塚祠也松樹翳欝側有小苗祠其神嘗得水田中蛭子祠

弱宮　在中林村又有蛭子祠稻荷祠

粟島祠　在中林海中粟島其前白沙皓然

祠在三田山陰

在出來島辨財天

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

落雷祠　在西水村引越山麓其神武雷命長善寺管之又有毘沙門祠在多門寺廢址

王子祠　在日開野又有八幡祠又有落雷祠俗傳昔雷隕此遂祀之

牛頭祠　在水瀉村圓山又有瑜伽八幡二祠亦在圓山金毘羅祠秋葉祠並在清水山

麓

天満祠　在學原村有林木方二十歩許松椎叢生側有祇園

八幡祠　在石塚村正福寺中平忠之置冨岡闔郷共祀

八幡祠　在石塚村牛岐城址景福寺管之又有祇園辨天祠

多門祠　在石塚村冨岡闔郷共祀又有鹿島祠

牛頭祠及管公廟妙義祠並在三石山

二宮　在天神山東條氏置王子祠在岡本蝶鳥杉尾二祠在浦内若一杉尾二祠在川西

紅梅祠　在中野

王子祠　在廿枝村

榊祠　在山口村秦元親嘗焚之今賜三石每歳七月望持竹枝鳴鐘鼓以呼名曰篠念佛又有王子祠里稱中分吉祠里稱津末又有日吉祠里稱原又有日吉祠里稱北山又有八幡祠里稱杉谷有日吉祠

山王祠　在荒田野南村南北二村及廿枝共祀又有御所祠國高祠西峯祠郷司祠生谷祠鹿島祠久徳祠

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

釜祠在荒田野北村喜来里林中有淵二曰大釜曰小釜土人雩

八幡祠在荒田野北村蝦川里又有天満宮亦在蝦川大歳祠三村共祀浮島祠在川一在岡端一在重牛頭祠在信定杉尾祠二友愛宕祠在平等寺星祠在安行八幡祠在清

定名

津峯祠在荅島其祠舊在山斥候臺址又有八大荒神祠在東分鹽竈神祠在早崎

在此四望曠敞除夜聖燈燃東南隅有

蛭子祠在夷山下諏訪祠在大瀉昔穿地得兵器遂祀之又有祠

在長濱寛永中鹽場始成曰置八幡祠

矢劍祠在大瀉昔穿地得兵器遂祀之又有祠

祠在海濱地名阿古女或曰其神益

神功皇后筑前相良郡亦有祠濱

甲斐八幡祠在橘浦内宮山今稱海正八幡有康安延文間文書舊有神田若干

聖燈燃又有八大荒神祠在荒神里蛭子祠在

夷山里社在地神街龍祠岬祠並在龍王埼八

幡祠在鵠

杉尾祠在椿地村又有總藏祠嚴島祠星御門

祠王子祠牛頭祠杉尾祠天満宮住吉

祠

八幡祠在椿村其主用山茶木曰村稱山茶亦在椿村納古鏡一枚又有三十番神祠有

加茂祠三千歩土人雩此又有岑祠阪道有

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

池大鰻鱷居焉村民雩應則見又有諏訪祠側
有池相傳昔有白蛇而居嘗野火延燒而炙又
有地神祠春
秋社民祀之
佐田祠在椿泊森氏祀其先也
又有岬祠在蒲生田
伊島祠在伊島以石爲主舉島祀之
八幡祠在福井下村稱大宮不知何年置應永
二年大永五年重造古木菀然大皆連
抱前有豫章大十五圍上折中虛可肆八筵高
三丈穴二各方丈人自此出入有枝三枝紫藤
纍之又有山茶連理而生大至合抱又有經筒
以古鏡爲底又有金毘羅祠
積祠蛭子祠
新田祠

八幡祠在加茂村又有竹祠
八幡祠在吉井村又有菅廟王子祠貴船祠弱宮
八幡祠在楠根村
牛王祠在深瀬村林中有瀑布又有八幡祠
八幡祠在十八女村
蛭子祠在水井村又有五社
八幡祠在大井村又有
八幡祠曰幡祠王子祠
敷井祠在大野村又有
八幡祠弱宮

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

蛭子祠　在和食村國初山田三哲爲行營而居
又有八幡祠和食中山二村共祀又有
古戸祠野里祀之
源眞之廟　在和食茨岡今稱弱宮
丹生祠　在丹生村又有八幡祠
又有龍祠在龍山二深樹茂乞雨必驗
又有辨財天祠
祇園祠　在小丹生村又有八幡祠
八幡祠　在中山村稱矢鋒舊在慶中森安實者嘗盛神像于矢筒奉以来遂作祀安之
八幡祠　在椋村
八幡祠　在懸盤村有六區各有林
龍祠　在日浦又有山靈祠
王子祠　在吉野村
藏王祠　在鉢村又有楠祠辨財天祠山靈祠
聖牛王祠　在小濱村
八幡祠　在牛輪村又有松尾祠神明祠
八幡祠　在岩倉村

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

八幡祠　在小畠村
山靈祠　在長安村有二區
八浦祠　在竹谷村
五體王祠　在菖蒲村
龍祠　在水埼村林中土人雩又有弱宮
弱宮　在檜垉村又有比丘祠
熊野祠　在請谷村又有八幡祠二
龍祠　在雄村又有新田祠五社
聖牛王祠　藏王祠地藏祠

八幡祠　在梁上村
若一王子祠　在延野村側有蛭子八幡二祠古藤隔溪蔓相交加稱王子林又有豊後祠祀藤原國貞又有龍祠
八幡祠　亦在延野村稱大宮平義時納大般若經
八幡祠　在百合村
聖護法善神祠　在谷村大永五年置又有祇園瀧宮八幡祠新田祠
蛭子祠　在大窪村大林又有八幡祠在北名
八幡祠　在平野村邊川里又有星祠

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

大宮在鮎川村即八幡祠側有松尾祠昔在丹生谷闔境共祀有大般若經六百卷應永三十一年藤原平則所納在臼谷村又鎌倉祠有聖牛王祠

杉尾祠在蔭谷村

八幡祠在横石村野宮盛實者自土佐負其像以到天正中爲里正

聖牛王祠在音谷村文禄三年置又有伊賀祠享保十七年改造又有三長祠在正木谷正木彦右衛門兄弟爲入江氏所殺享保十四年建廟祀之又有祇園祠

賀島祠在榎谷村

八幡祠在花瀬村又有氏神祠弱宮

人麻呂祠在谷内村貞治元年置又有栢木祠八幡祠牛頭祠

八幡祠在出羽村又有阿波路祠

八面祠在西納村小太夫者自土佐野根村負以來合祀小太夫

八幡祠在木頭名又有八幡祠鎮守祠

龍祠在木頭名阿津江側有水曰禊川山曰神祇又有十二社在黒瀧山八幡祠在猪窪

讓葉祠在木頭名讓葉里相傳迎祀淡路讓葉神也有古藤大一丈五尺蔓延四十歩

蚯枝翦

那智祠　在木頭村奈伊瀬里又有本宮新宮八
社五水天祠轟祠聖牛王祠王子祠
八幡祠　在馬路村又有八幡祠又
有聖牛王祠
藏王祠　在阿井村又有八幡
有湯谷祠昔有温泉曰名

佛刹

地藏寺　在立江村一稱立江寺安地藏像高
尺地舊廣濶今方九十歩隷神應寺元
暦元年源廷尉頽旗山使人乞糧三好氏捨田
十三貫慶長中命更重造賜畫鷹屏風藏般若
心經寺前有池橋側有淵土人乞雨必應

景巖寺　亦在立江村源兼幸置隷丈六寺

神宮寺　在櫛淵村秋元紀伊守就正興寺廢址
造之管八幡祠隷神應寺有金鼓一口
識曰文治三年七月十日和泉三郎忠衡

法泉寺　亦在櫛淵村秋元紀伊守置隷丈六寺

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

金剛寺　亦在撫淵村修眞言

現福寺　在大林村隷神應寺

神宮寺　在阪野村管八幡祠亦隷神應寺

道淨寺　在黒地村隷信行寺

神應寺　在八幡村至德中置舊有支院十二管八幡祠隷大覺寺

和光寺　亦在八幡村隷神應寺

法福寺　亦在八幡村隷神應寺

眞福寺　在小延村隷神應寺

大久寺　在今津浦城址隷神應寺

信行寺　在今津浦文明中釋西願置初稱北坊永正中改稱慈船寺慶長中釋慶順置別院于城府使弟玄順居亦名慈船寺寛永中此寺改稱信行寺隷本願寺西願初名信時稱淺野藏人寛正中入京師師事釋蓮如

正圓寺　亦在今津浦亨祿中釋淨西置初稱南坊隷西本願寺淨西即源賴氏稱多田孫六郎攝津鳴尾人賴綱之後仕足利氏壯歳爲僧受法于釋蓮如既而來創此寺平井氏捨田二町其老近藤湯淺伊達岡本諸族皆以爲香火院慶長十五年始稱正圓第三世稱淨教源眞之之子也

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

中藏寺　在川屋村　隷西光寺

善福寺　在福井上村　亦隷西光寺

神宮寺　在三栗村　亦隷西光寺

宮坊　亦在三栗村　隷西光寺

西光寺　在赤池村　隷大覺寺　頭源義冬來宿既而居平島曰以爲香

火院　捨田二町

三江善行書存

德林寺　在大京原　隷西光寺

拳正寺　在中莊村觀音山山有石窟深一丈五尺中安觀音像舊稱見性寺賜祿五石

管八幡祠　隷神應寺

能路寺　在宮倉村亦隷神　應寺管和耶祠

取星寺　在岩脇山上亦隷神　藏小石俗傳隕星所化

眞光寺　在西原村亦　隷神應寺

觀音寺　在古莊村亦　隷神應寺

寶藏院　在南島村　隷隆善寺

觀音寺　在柳島村亦　隷隆善寺

觀音寺　在横水村　隷正福寺

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

光明寺　在黒土土佐街隷智恩院慶長三年上村範秀置令釋全譽居

普賢寺　在黒土西街隷正福寺

常光寺　在黒土網屋街隷本願寺

金剛寺　在領家村隷正福寺天正中罹兵燹支院萬福寺今廢地方三十五歩

眞福寺　在中林村亦隷正福寺

長善寺　在西水村亦正福寺舊有支院三曰寶南寺曰藥師坊曰多門寺天正中皆廢

千福寺　在水瀉村亦隷正福寺管加志波比賣祠

正福寺　在石塚村修眞言管寺二十三山名蓬萊有八幡祇園辨財天三祠

光隆寺　亦在石塚村隷正福寺

景德寺　亦在石塚村隷正福寺

妙泉寺　亦在石塚村隷和泉妙國寺

本覺寺　亦在石塚村隷丈六寺

淨土寺　在冨岡隷正福寺

光圓寺　亦在冨岡隷西本願寺

圓長寺　亦在冨岡隷信行寺

桂德寺　亦在冨岡修眞言

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

隆善寺　在隆善寺村昔爲名賴朝重造堂塔壯麗嘗罹兵燹三好氏命佐藤伊賀守造後罹災國初命造泉福寺寶永五年復造支院四日福聚院移居于荒井曰泉福寺曰法僊坊曰西塔廢址在西距寺六十歩東光坊並在本莊下井今置大悲閣有聖燈古松已枯以其材造菴名無量中堂鐘樓大門等址今皆爲田又有門今市大會之日土人爲市斗

容藏院　亦在隆善寺村隸隆善寺

宮坊　在大野上村亦隸隆善寺

神應院　在大野下村亦隸隆寺慶安中釋宥性置

廢東光寺　在大野下村坪野藥師堂一區獨存

吉祥菴　在西瀉村隸武藏靈雲寺

泉福寺　在本莊村泉里泉石地三石一斗又有廢本福寺舊隸隆善寺大悲閣獨存

八鉾寺　在宮内村隸隆善寺年天皇捨金字法華經及般若心經

玉泉寺　在三倉村亦隸隆善寺慶長二年釋秀寛重造

明谷寺　在明谷山上山名白雲池明秀樹石蒼翠登陟有趣安觀音木像頗有古色又

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

藏不動隷

隆善寺

興立寺　在荒井下村井關林方百二十歩許
斧斤不入中置藥師堂亦隷隆善寺

善昌寺　在荒井上村
亦隷隆善寺

桂國寺　在大原村會下里山名金栗釋全菴置
永禄中罹兵燹清原高國重造釋拈笑
爲祖隷丈六寺天正中命更復
造采地二十石藏瑞雲公書

梅谷寺　在桑野村文明十五年源常忠置稱天
神坊天文七年源元信重造常忠元信
並武田氏小樹扶疎東枕緑野有菅公祠山名
天神慶長三年命爲路室山名驛路又改寺名
賜田十石
隷正福寺

萬福寺　在桑野村源實光
城址隷正德寺

圓福寺　在卅枝村東山
諸堂嘗罹兵燹

常光寺　在山口村舊有支院三曰來光寺曰眞
福寺曰岡寺皆廢又有廢福萬寺今有
小菴

廢蓮華寺　亦在山口村釋長範所置源實光重
造子院五曰上善寺曰逢地寺曰聖福寺
德寺曰蓮池及門址存
並罹兵燹

蓮光寺　亦在山口村安觀音石
像以上三宇隷正福寺

平等寺　在荒田野北村山麓昔爲大伽藍天正
中罹兵燹南有浮屠東有蓮池西有護

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

摩場其址或存或亾安
藥師像今隷正福寺
圓福寺　在荒田野北
村隷桂國寺
圓福寺　在荒田野南村修眞
有廢蓮光寺今有觀
大日寺　在荒田野南村月夜
空海所觀月之處隷
神宮寺　在荒田野南
村隷正福寺
善修寺　亦在荒田野南
村隷正福寺
東福寺　在内原村亦
隷正福寺
地藏寺　在谷島村西分里慶長中命廢長福寺
旧置此寺萬治中釋宥壽居隷正福寺

光明寺　在擧浦亦
隷正福寺
多門寺　在椿地村
隷西光寺
吉祥寺　在椿村貞治中
置隷隆善寺
壽生院　亦在椿村大
龍寺管之
愛染院　亦在椿村大
龍寺管之
福藏寺　在椿泊修眞言元和中釋快眞置
快眞舊居名東郡津
道明寺　亦在椿泊隷福藏
寺釋快善重造
華藏寺　亦在椿泊隷平安智恩院元
祿中釋辨譽自讃岐來居

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

等覺寺　亦在椿泊修一向慶
長十八年釋西賢置
眞光寺　在福井下村隷西光
寺藏貞治二年鬼簿
神宮寺　亦在福井下村隷西
谷寺支院三曰大正寺曰長願寺曰長
福寺其地並爲田管
八幡祠今隷西光寺
一宿寺　在加茂村隷大
宿之處木匠藤
從来
大龍寺　在加茂村西南
本紀相傳桓武天皇勅
上皇勅釋長範重造支
院七曰悉地曰光明曰
空藏像釋空海所
攀躋之處也見續日
藤原吉高金工三條宗近所
昔在海部郡小谷稱一
寺嘉保中釋長範所
寺藏貞治二年鬼簿
在福井下村隷西光
在加茂村隷大龍寺
龍嶽山號捨心安虛
傳桓武天皇勅藤
文山造嘉保二年
日

壽生曰愛染曰成就曰
二十貫田一町五段爲香火院今領五十石山
秀谷深杉樹高茂斧斤不入又有求聞持堂三
層塔等不可枚舉藏銅馬金龍鐵錫寶鐸及劍
古鏡除夜聖燈燃每在虛空藏堂前杉又有窟
四曰龍曰不動曰鐘曰正地又有懸崖二並曰
捨身一在南谿有小堂安不動像一在北谿上
置一石龕北枕長川通水井阪道二千許南
走和食阪道千二百六十步西通細野阪道千
二百步許東通加茂阪道三千步

滿願寺　在和食村大龍寺
管之舊爲大伽藍
時元菴　亦在和食村悉地院管之又
有觀音窟洞中安觀音石像
阿彌陀堂二基　在和食村大龍寺
所事一源茂岡一源眞之
源俊平所事

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

光盛寺　在小丹生村修眞言
持福寺　在中山村隷大龍寺杉作之曰名谷曰唐杉又有地藏石像
明德中森安實置識文存　森安藥師像以舶來
廢專念寺　在椋村大龍寺管之有藥師堂及小菴
法輪寺　在雄村舊稱長福寺隷大龍寺
西法寺　在梁上村修眞言又有廢法東寺今有藥師堂
萬福寺　在延野村圓山隷大瀧寺又有廢玉祥寺在寺山大悲閣獨存
不動院　在朝生村承應四年釋慶惠置隷大龍寺

正光寺　在平野村延寶六年釋寬聖重造隷大龍寺
蓮光寺　亦在平野村隷大龍寺
瀧寺　在鮎川村修眞言有堂安闍魔像
延命寺　在横石村隷桂國寺
妙法寺　在谷内村隷大龍寺
黒瀧寺　在厚江村隷延野萬福寺有廢城林木叢生可以禱雨
蓮臺寺　在阿井村釋乘雲置修眞言
廢萬願寺　在敷地村萬願寺淵側今有地藏堂又有廢福權寺在楠根村今有小菴

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

廢妙樂寺在小濵村今有藥師堂廢長福寺在
木頭村今有阿彌陀堂廢妙樂寺在西納村觀
音堂
獨存
天神坊 在吉井村
隷三寶院
妙覺院 在宮倉村又稱聖
蓮寺亦隷三寶院
文殊院 在冨岡亦
隷三寶院
大乘院 在桑野村
隷三寶院

古蹟

春日部屯倉 在宮倉村葉浦里其基址高如丘與春日祠隣釋日本紀云屯倉天子米廩也公廨穀倉也安閑天皇二年五月朔甲寅置郷校在學原村蓋下郡教育子弟之處其址今不可知

立江壘 在立江村源長次據此

櫛淵壘 在櫛淵村明神山秋元紀伊守據此

中林壘 在大林村源長次之墟康治中移立江村

阪野壘 在阪野村田北里源吉光據此臺址馬埒存又有梅名曰軒端慶長中中野某

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

所接平安誠心院之種也

藤原武宗宅址　亦在阪野村大葉里

平島壘　藤原清兼據此永禄中源義冬入居改稱館

今津壘　在今津浦平井對馬守據此天正十年秦氏抜之大久寺其址也作祠祀之其地隆起四面有篁蓮池在其中有本街新街等

古津壘　在古津村越智兼常據此今祀之稱天神

中莊壘　在中莊村觀音山麓藤原國貞據此

岩脇壘　在岩脇村山上藤原高則據此壕壘猶存其南足有宅址二一曰右京一曰若狭蓋其族所居也

岡壘　在岡村岡甚丞據此今稱宮山

土井宅址　在西水村四面有竹土井備後所居備後新開氏舍人天正中避地于讃岐及子彦太夫還住

冨岡城　在冨岡舊名牛岐永禄中平忠之據此天正十年八月秦元親率兵至次此乃使其弟親康守之天正十三年吾兵之入也捨走土佐細山帶刀改稱賀島主水正受命守之置兵三百九城之一也有八幡祠相傳忠之所置

今市壘　在今市村小山上平兼久據此天正十年七月望秦氏兵陽爲蹈歌襲而取之

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

今有小祠及其墓

香美壘 在隆善寺村香美馬進據此

上大野壘 永禄中源高長據此今權現山高二十仞許帶長河土人傳稱下鐵鎖瓶以汲河歃射兵渴而潰坤隅有石崖鷹隼所息而絶之

中大野壘 仁木伊賀守據此

竹原壘 在下大野竹原里源某據此曰氏大野

本莊壘 永禄中清原高國據此土壘猶存

西瀉壘 永禄中源光豊據此天正十三年拔

宮内壘 宮内掃部頭據此今爲田

井關谷壘 在荒井下村猪防五郎右衛門據此山曰茶臼地呼井關牓示

栗栖壘 在桑野村源實光據右衛門戍木津壘又東嶺有壘曰高丸

斥候臺也天正中適土佐屬秦氏今爲寺曰萬福寺

高源寺壘 在桑野村吉祥寺據此天正中佐藤伊賀守代之基址

高低三等其下爲高源寺廢址今置小菴

佐渡守壘 在桑野村山中源光房據此

畑山壘 在桑野村呼城山天正四年秦元親置令桑野義明率兵二百守之

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

古戰場　在桑野村浦内里天正中埋尸于此其墓在花阪南長十歩有松樹數十株

廿枝壘　島田山城據此天正中

城陌子孫居上大野

山口壘　由岐備中守據此

國初叛討而拔之

大谷壘　在那西藤原

武諸據此

岡山壘　在荒田野南村湟猶

存恐藤原行宗所據

音坊壘　在荒田野北村

恐平某所據

大潟壘　四宮外

四官肥後守據此有祠

記據此

椿壘　四宮石見守據此天正中陷石見守

祀之椿地又有古壘

下福井壘　四宮石見守據此天正中陷石見守

舍人石田與四右衛門有子稱伊左

衛門子孫爲農

加茂壘　藤原兼繼據

此稱楠山城

大井壘　源敬元據此隆善

寺村又有別壘

和食壘　在和食街西巷藤原章俊據此

里有窪城上城城第等之名

茨岡壘　在和食東南山中今稱井原其北有里

曰岡源眞之所遜居即此或曰大井又

曰丹宇　並恐非

丹生城　在猿瀧山藤原兼時據此天正十三年

瑞雲公之入也命織部正山田宗重

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

戍之置兵三百
九城之一也

小鍛治宗近宅址　在丹生中山小鍛治谷
嘉保中從釋長範來寓

小丹生壘　永禄中藤原正廣據此

柳谷壘　亦在小丹生加茂某
此臺址存高十丈餘

棚野壘　福良右衛門
兵衛據此

櫛阪壘　在椋村湯淺丹後所
據藤原兼時別壘

竹蹊壘　湯淺某據此又
有壘稱城臺

延野壘　藤原平則據此山稱高
丸林木蒼翠土人乞雨

黒瀧壘　在木頭名厚江山中
藤原兼行所據

塚墓

源敬元墓　在隆善寺

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

氏族

椋部夏影 三代實録云元慶五年夏四月四日阿波國那賀郡人從七位上椋部夏影從八位上椋部古麻呂從八位椋部安世并白丁十九人復本姓曾禰連

源義植 初名義尹尊氏之後明暦二年走西海永正五年六月叙從三位任征夷大將軍六年十月襲先祖之官八年八月源政賢入攻義尹與大内氏共出既而破政賢于舟岡山十年攻近江軍敗竄于甲賀山五月入京改名義植大永元年三月出京師客居淡路源高國迎故將軍義澄之子義晴義晴乃自播磨入遂有隣三年四月義植來薨于撫養享年五十八號惠林院嚴山天文四年贈太政大臣從一位

源義冬 義植之長子永正六年生于京師母源義成之女天文中不獲乎父從母出京師奉迎館之于平島供以淡路志筑浦源持隆平島郷十二村吉井楠根丹生和食四村凡三千貫初從者三百六十人特留六族他悉歸之結城要周防大内氏天正元年十月薨享年六十六族曰冨永曰三江曰乾荒川曰湯淺曰結五葬于西光寺有男三人長曰義親次曰義助住

源義親 義冬之長子天文十四年生于平島母周防大内氏二十四年從父母移于平島母周防永禄六年還九年十月卒于撫養享年二十九

源義助 義親之弟天文十七年生于平島母周防永禄六年還平島柳澤主膳正使人送之天正元年十月卒享年五十二

源義種 義助之子母周防柳澤氏永禄六年父還平島慶長元年九月生于平島母水無瀬中納言之女之子眞之子眞名六郎眞之之被弑也甚幼仁木伊賀守抱而走免于足利氏及長寄食秋元紀伊守之家既而有違言移居于楠根村紀伊守遂割地三百石與其子義則令之照監初與秦元親相善後見彼暴厲少恩絶之慶長元年八月卒享年三十六子義則稱縫殿亮居櫛淵村瑞雲公嘗使女公子辰姫避痘于其宅後賜民五十戸名

源義次 稱平島又太郎義種之子慶長元年九月生于平島母水無瀬中納言之女之子眞名六郎眞之之子眞細川石見守小名仁木伊賀守抱而走免于足利氏及長寄食秋元紀伊守之家既而有違言移居于楠根村紀伊守遂割地三百石與其子義則令之照監初與秦元親相善後見彼暴厲少恩絶之慶長元年八月卒享年三十六子義則稱縫殿亮居櫛淵村瑞雲公嘗使女公子辰姫避痘于其宅後賜民五十戸名

源之照 稱細川石見守小名仁木伊賀守抱而走免于足利氏及長寄食秋元紀伊守之家既而有違言移居于楠根村紀伊守遂割地三百石與其子義則令之照監初與秦元親相善後見彼暴厲少恩絶之慶長元年八月卒享年三十六子義則稱縫殿亮居櫛淵村瑞雲公嘗使女公子辰姫避痘于其宅後賜民五十戸名

託之于足利氏及長寄食秋元紀伊守之家既而有違言移居于楠根村紀伊守遂割地三百石與其子義則令之照監初與秦元親相善後見彼暴厲少恩絶之慶長元年八月卒享年三十六子義則稱縫殿亮居櫛淵村瑞雲公嘗使女公子辰姫避痘于其宅後賜民五十戸名

二年生于平島慶長五年五月卒

香十五種文明中慈照公所賜茶櫪一豐臣公所賜寛永二十年亥享年六十五

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

秋元紀伊守　姓平居櫛淵村其先信濃人天正
公將賜禄三百石居三年未命乃去之他邦不
知所終男二郎五郎源之照養而長之其族左
近天正十年戰
死于中富川
藤原武諸居那西稱大谷
宮内掃部頭　姓平居
源長時　稱小笠原大膳大夫據信濃深志城刑部少輔二十一世之裔性多智略善射
御天文中與甲斐源晴信戰失利走京師會征
夷大將軍被我四方鄙沸往寓于紀伊廣城弘
治中應三好氏招來居那西中村城方二百四
十三歩三面有池匝之既而使子長幸留去之

京師
源長幸　稱小笠原修理長時之長子居立江郷中村領椋埼西埼二村文禄四年歿子
兼幸稱次郎左衛門天正中移居清水秋元紀
伊守外姪次日長則長宗長宗生賴宗生留久留久生通長通長生
賴宗生留久留久生通長通長生
通秀元文三年去小字稱笠原
源長次　稱小笠原左京居立江村同宗六人其
族曰東條曰大原曰小川曰小早川曰
仁木曰清
藤原武宗　稱大葉居阪野里名大葉其族五曰
源吉光　氏篠原居阪野田北里其族
三曰大窪曰大谷曰町田

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

平吉國　稱天羽居西路水村其族三曰立江曰淺井曰荒川子孫爲里正

藤原兼時　稱湯淺對馬守居丹生其族三曰土井曰細川曰岩佐兼時之明中細川氏書丹生俊重　稱十郎左衛門其先伊勢人俊重來居丹生谷第二子稱太田刑部移岩

藤原正廣　稱仁宇伊豆守居小丹生蓋兼時之族也子孫世稱柏木家于城址藏文脇子孫爲里正

藤原平則　稱延野兵衛進居延野村天正十年大浦曰三浦子某稱出雲守富川其族曰東山曰西曰瑞雲公賜地移于殿谷又賜刀一口國時所

源敬元　稱服部曰幡守父敬滿稱細川信濃守後居于伊賀服部城曰改稱服部伊賀守即源持常弟與河野氏戰城陷敬元乃來居大井與福良出羽守及大栗右近森監物栗田宇右衛門俱事細川氏于丹生欲張公室雖其功不成忠勤終身瑞雲公欲征丹生就其家而慙敬元喻以降之既而其民倨傲不服令山田氏征而有功子敬右稱長助世居大井弟敬

藤原行康　稱吉井左衛門大夫居吉井村阿瀬川氏之族天正五年攻今切城

源賴照　稱細川大隅守居木頭其族三曰大野曰湯淺曰長山

造也子孫以殿谷爲氏

種稱和泉世居中莊

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4

ガラス使用

和食其　姓源

藤原兼重　稱湯淺權頭其先紀伊阿瀨川人其阿瀨川右大將源賴朝所割以爲造熊野兩宮及源持常書其族齋兼休居加茂村稱阿瀨川左衛門之料曰以爲氏藏瑞雲公

藤原兼綱　稱西志摩守初稱湯淺豐後守居中莊村浦川里又有五百貫其裔居雄村爲里正

藤原國貞　稱湯淺紀伊湯淺人天正十年戰死于中富川其先紀伊阿瀨川人其八曰福田曰黑田曰清水曰龍田曰矢上曰大野曰湯淺曰鈴木又有弟大膳正世爲里正中富川一曰晩節自牛輪移居延野天正八年九月病沒塋于延

織原某　姓藤原中莊之族

藤原正兼　稱中莊內膳居中莊村浦川里又有主膳正天正十年戰死于中富川其族五曰津吹曰宇間曰關元曰湯淺曰竹越

越智兼常　稱古津竹右衛門河野氏之族居古津村曰氏古津天正十年戰死于中富川其族三曰吉本曰粟田曰野田

越智某　稱川洲右衛門兼常之族

越智某　稱池田亦兼常之族屬平忠之稱高市見勝浦郡地藏寺所藏文書亦屬平忠之

越智正見　稱高市見勝浦郡地藏寺所藏文書亦屬平忠之

平直行　其先關東人文治建久間來據牛岐城世爲望族源賴之嘗在讃岐宇足津名

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

直行以討
源清氏

平忠之　稱新開遠江守直行之後釋服號道善
屬源義賢天正九年十月十六日至丈
六寺爲秦元親所殺其族四日堀
田曰矢上曰髙尾曰林又有并行
香美馬進　姓蘇我其先土左人居隆善寺
村天正十年戰
死于中富川
竹原某　姓源居五箇莊
城即下大野
平并久　稱宇奈瀬對馬守小名龜進居宇奈瀬
里據今市壘其族五曰太田曰羽子根
曰園木曰遠
山曰近江
清原高國　稱清安藝守弱冠稱内記晩節改乘
真備中足森人永正三年來居本莊

賜竹原莊時那東隊長有十六岩佐織原中莊
新居古津池田髙市宮之八族平忠之率之竹
原宇奈瀬岩脇山木桑野板西福井井川之八
族高國率之中富川之役獲首級長治加賜名
西莊天正五年四月歿享年七十三葬桂國寺
無子養宇奈瀬氏之子乘慶以爲嗣稱備後守
孫長吉稱大藏始稱下大野藏天正十一年文
書即長尾謙信所賜乘宗者其族五曰貝出曰
浦上曰山下曰
大澤曰石部

清原乘宗　稱清美作守乘之弟
如越後隷長尾謙信
源高長　稱仁木左衛門居上大野城其子教將
應仁中屬山名宗全父貞長稱右馬助
高長永祿八年三月自京師至兵百三十領大
野三村子高持稱式部大輔孫持吉亦稱式部

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

大輔有三子長曰師高次曰高成次曰長俊長
俊子孫世居岩脇又有庶孼居上大野仁木伊賀守居中大野仕源真之而至忠真之
于足利氏又有大膳蓋其族也
宮某姓藤原屬平忠之稱紀伊守居岩脇其先義盛建武四
三枝高則稱紀伊守居岩脇其先義盛建武四年六月十六日任兵庫助藏人民部權大輔藤原清經宣其族五曰大
出曰小出曰時白曰浦江（ホノ）曰江元
桑野某居岩脇姓三枝亦
山本某居岩脇姓三枝亦

平一樂稱秋元若狹守紀伊守之弟岩脇城南有其宅址農民一樂勇左衛門者蓋其裔也
藤原行宗稱須藤豐後守居荒田野其族一曰山田
平某稱荒田野亦居荒田野其族九曰中島曰寺澤曰宮井曰江原曰吉田曰浦田曰坪田曰津山曰齋田
藤原義政居原村曰以氏原其族三曰星野曰澤田曰堤又有彌助從源長治亦于
別宮浦恐即義政
阪西某姓源稱小笠原

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

源宗任 稱武田居上福井其族五曰山本曰小林曰谷本曰大谷曰江田

藤原某 稱芥河兵庫天正十年戰死于中富川

源實光 稱東條關兵衛甲斐人父信綱稱武田甲斐守天文中來居桑野領八村自鎧石至本莊（在口山）慶與秦元親戰永禄五年始平乃娶元親之女天正中至土佐幡多郡領二萬石居有年病歿于小篠城有子曰信光在小篠被殺家人森下尾節尾三氏等皆殺于浦戶又有岩淺甚左衛門者居下福井采地五十貫姓橘子孫藏實光文書天文元年所與

源光成 稱東條治部丞實光之弟又有光房稱佐渡守光成之兄

源光秀 稱東條出羽掾實光之叔父天文中居橘浦窪尾天正中釋服號宗月闕地十八町世為里正家人湯淺渡邊等皆為舟子

源康明 稱桑野河內守光秀之族

殿谷友太夫 姓藤原又稱藍川延野氏之族居鮎川其後至嘉太夫有弟稱喜三左衛門分居和食

藤原光次 稱鎌田其先自淡海公出父正家稱兵衛尉永曆元年正月戰死于尾張光次從源義經來于本國戰而傷遂止不去其裔居桑野村浦內

藤原正廣 稱孫太郎光次十九世之裔仕源義賢年方強釋服為僧號宗玄從事于文藝不復預人事嗜和歌及茶義賢賜以茶標標名松風

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

藤原正吉　稱甚八郎正廣之弟秦元親之入冠也戰死于桑野浦内民祀之

藤原正忠　稱孫左衛門正廣之子正廣既老乃襲其職服事三好氏永禄七年正月源實光家人森宗味及道賀以私怨來圍偶中流矢而斃二人乃歸于桑野城子正光即率兵行圍實光命二人自殺授以其首賞之賜以槍一枝

藤原正照　稱縫殿亮正光之子元龜三年在勝瑞城殺賊時年十七三年謁三好氏瑞雲公以刀備前治工兼光所造天正十三年十月于攝津河原有功時年十八好氏戰于桂國寺命爲山口里正無何湯淺十郎左衛門叛于丹生谷由岐備中守討之正照從獲首一級丹生之賊據險于櫛阪正照爲向導南行經大谷曰出其後賊驚而敗走有從弟稱猿丞大阪之役戰死子孫今分爲四戶

森加賀　居桑野仕源實光有三子長某稱木工次某稱熊右衛門從山田氏攻丹生次某留子孫爲農

源某　稱紅露清左衛門近江八幡人父義昌佐木氏某來居桑野子某稱彌左衛門娶新開氏屬源實光丹生之孫世爲某亦稱彌左衛門孫役與森易右衛門謀出于賊後有功子孫世爲里正

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

鈴江某　稱喜右衛門居桑野
長某有後爲農次某野仕三好氏有二子
森氏從役于朝鮮　襲稱喜右衛門仕
下尾藏人　仕源實光居桑野亦土佐
其宅址存同僚甚疎
近藤兵左衛門　近江志賀人來仕三好氏蓋名
改氏森但馬有二子長稱久見地藏寺文書至子但馬
衛門丹生之役並有功賜書及刀世居荒田野
南村

源宗吉　居下福井曰以福井爲氏其族
一曰武田天正三年降秦氏
櫻木某　居下福井

戶田某　豐前人亦居下福井
源信治　稱武田刑部三郎自播磨龍野來主四宮肥後守之家遂居椿村其裔藏甲冑
弟清康稱外記
子孫世爲伍長

土井備前守　仕平忠之其裔在西水

藤原某　稱岡甚丞居岡村天正十年戰死于中富川

勝瀨志摩　或稱泰地姓藤原伊勢泰地人來闢刈屋村俗傳有異人曰水底有物光芒亂發願爲去之志摩乃探得曺一枚其裔世爲赤池村里正

藤原清爭　稱湯淺與助其先紀伊湯淺人兼繼之族其族四曰赤阪曰加養曰橫阪

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

曰橋本居
大京原

越智友通　稱河野左膳伊豫人祖通信稱刑部大輔父勝生稱太郎天正中反通避地來居百合山中其峯今稱河野孫三郎天正中越智通豐　稱河野孫三郎天正中從兄友通來居谷内藤原助光　稱小濱闢小濱村仕丹生氏作祠祀之稱弱宮其裔稱元木藤原某　稱湯淺佐渡豐後守之季子居吉野森安實　稱内匠頭甲斐人名其裔天田浦嘉慶中來闢中移居山村誅草爲田村有安實名其裔天正以來爲里正

東村備後守　仕源存保其裔在平野野宮某　稱甚三郎土佐人永禄中來居雄村岩佐某　稱磯丞藤原秀衡之裔居懸盤源某　稱天羽勇玄島田氏之族闢櫻谷村其裔猶存又有苗曹居板野郡南濱殿谷某　闢田若干鮎川殿谷氏之族清水安信　稱傳左衛門備前松山城主清水長左衛門尉之裔寬永中仕山田氏藤原某　時之族闢椋村其裔今爲里正藤原某　稱湯淺丹後紀伊阿瀨川人兼喜三左衛門延寶中至和食藤原某　稱湯淺右京豐後守之三子天正中與兄佐渡守同居鮎川闢草萊其子某稱

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

甚兵衛仕山田氏從
役于關原其裔存

藤原某　稱入江伊賀助闢
音谷其裔猶存
之弟闢水埼其裔猶存

藤原良光　安德天皇晏駕乃携其子良明來居
相原尋闢阿井村後爲僧稱乘雲其
裔世爲
里正

藤原兼行　稱湯淺壹岐守紀伊人祖兼政稱權
官嶮生當山厚江諸村及兼行來闢木頭名拜
孫世居木頭村爲里正兼行之子仕
藤原兼綱　其裔稱廣澤在源持常
楠根

藤原吉高　稱近藤縫殿亮嘉保中從釋長範而
至改造大龍寺吉高爲木匠長其庶
孫今分爲三戶
並在水井村

寒川某　稱六右衛門讀岐人其先
寒川丹後守其裔居細野

藤原高重　稱湯淺加賀紀伊湯淺人祖知重稱
兵庫父每重稱曾鹿並善和歌徒弟
多天文十三年曾鹿終有三子長即高重仲名
光重季名宣重稱石見弘治三年高重與宣重
來于今津訪平井對馬守高重留居吉井村宣
重寓七條白祐家對馬守即學和歌于曾鹿
也

藤原光重　稱湯淺筑後永祿八年五月與孝重
共訪高重天正十年八月在今津壘

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用

與高重徳
泰氏而攴

藤原孝重　稱和泉有男二人長曰綱重稱與次右衛門國初監攝津玉造土功次曰友重稱彦右衛門居古庄友重有二子長曰古衛門亦居古庄次曰忠重稱湯淺五郎右衛門並居古庄村

森某　稱志摩守初據土佐泊壘

七條某　稱白祐居中壘

平井某　稱對馬守據今津壘

後移椿泊村重之祖也

莊觀音山壘

上村範秀　稱次郎左衛門播磨人父幸範稱兵庫助據弱江城天正七年戰死範秀乃移備前慶長三年來居明見島

忌部政重　居木頭奈伊瀬子孫世爲里正康正中簿書存

方外

釋空海　姓佐伯讃岐多度郡人年十五就舅從五位下阿刀宿禰大足讀書十八得虛空藏求聞持法來登大龍嶽又勤念干土佐室戶埼就石淵寺勤操法師薙髮博通經論德宗貞元二十年入唐抵長安周遊諸山謁慧果阿闍梨果授以阿闍梨位并諸法又遇罽賓般若三藏受梵筴既歸我大同元年也詔入論佛法弘仁七年登高野山創金剛峯建浮屠承和二年三月二十一日寂撰述甚多延喜二十一年賜謚曰弘法大師春秋六十二見三代實

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用

釋光勝　父即常康親王稱雲林院宮光勝弱冠好遊觀天下名山足跡殆遍所過道橋寺祠壞心修之無水之地則鑿義井郊野見骸焼而塵之天慶元年入京勸人唱阿彌陀佛名時號市上人號自是始少上人天暦二年上天台山従釋延昌五年會京師大疫歿者無算刻大悲像祈之疫乃止遂就洛東募四衆創寺安之號六波羅密寺阿波海中有島曰湯島至而焚香七日應和三年延僧三年九月端坐而寂享年七十見元亨釋書

釋淨教　姓源稱細川刑部父眞之母平井對馬津城州初未聞有佛法乃往説法順化者多天禄二年六百人於六波羅密寺金書大般若經奥羽

守之女眞之既没而育于舅氏今

陽正圓寺正信養以嗣承應三年没享年七十三子正順嗣正順呂第三子淨也爲嗣淨也娶平島氏義治之女

羈旅

秦親康　稱長曾我部内記亮元親之弟天正中來戍冨岡城

良民

農夫貞右衛門　有足疾不能行貞右衛門鞠養是務為作兩輪小輿為自推行呂適其意所欲往

孝子

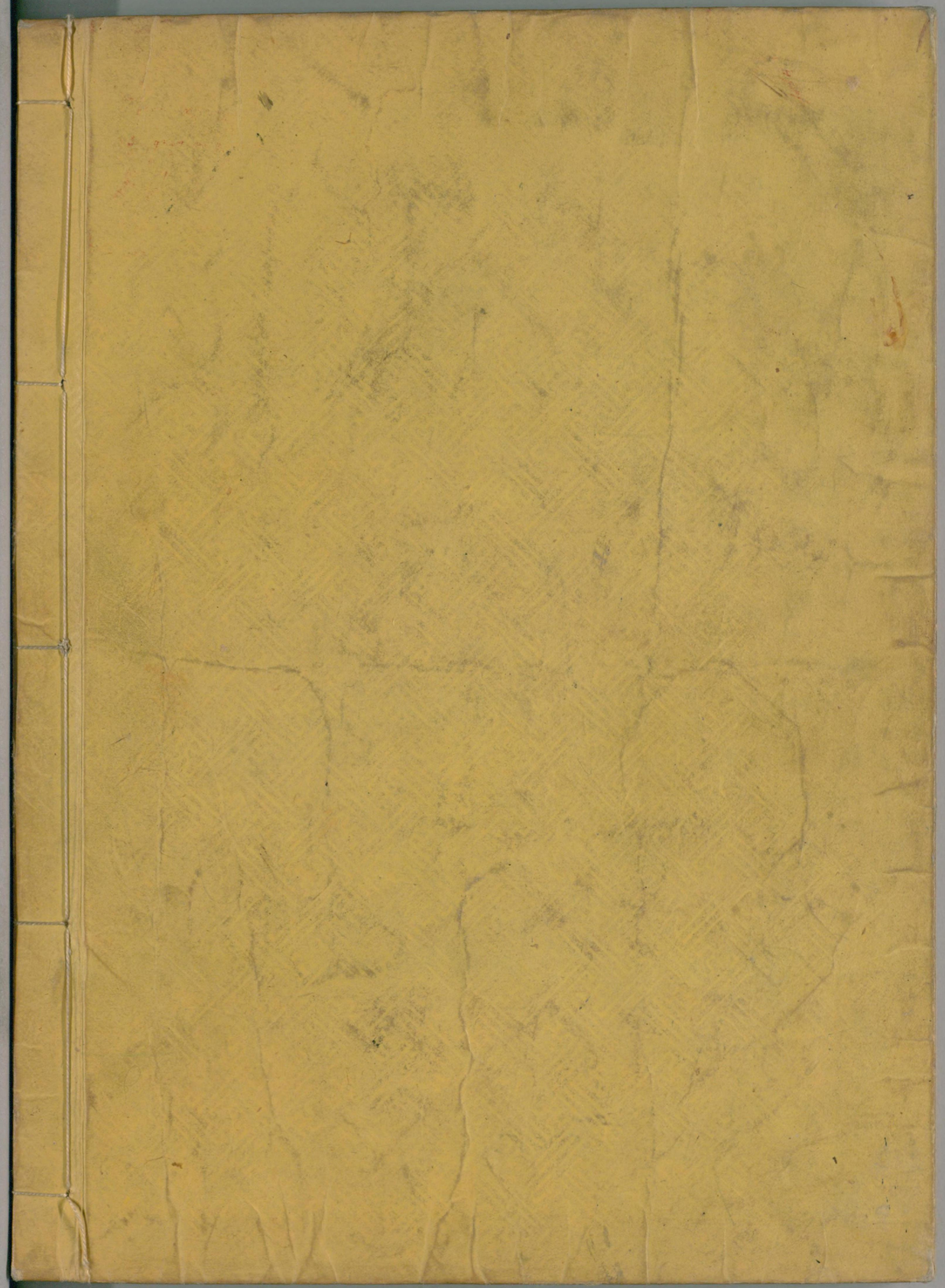
鍛冶治左衛門　岩腸人天性至孝而家甚貧父曰常清年九十餘無齒常以甘脆自食草蔬父嗜麵或買于富岡街或乞于近隣供之不絶治左衛門年六十四妻五十餘愛慕益甚未嘗不更侍嘗値隆冬寒甚夫妻以身温父父足尚冷薪炭偶盡呂持斧以出

国立国会図書館　タイトル『阿波志』 請求記号 849-4
ガラス使用

849
4

斫一松樹其地爲禁林取星寺僧所護僧使人
囚之逃去不知所之明日使里正廉之罪人未
得治左衛門即以實首里正愕然不得已而告
官官特赦其罪更賞以白金十錠執政賀島主
水山田織部令人慰之並出南溟公之意也下
宇兵衛最甚爲毋高其床以避下濕夏則扇之
冬則設地爐務滋味雖荒饑使毋不知匱乏毋
嘗欲巡歷四州佛刹乃隨行扶持以舒散其意
鄉里傳稱寬政四年正月官賞之以白金十錠
更以草綿十六貫賜其妻

国立国会図書館　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『阿波志』　請求記号 849-4

ガラス使用